



CARTERVILLE
Junior High

The logo consists of an orange paw print with five distinct toes, positioned to the left of the word 'CARTERVILLE'. The letter 'C' is stylized, with the paw print's shape integrated into its upper curve. Below 'CARTERVILLE' is the text 'Junior High' in a bold, dark blue, sans-serif font.

2024 - 2025

学生ハンドブック

カータービルCUSD#5スクールカレンダー2024-2025

2024年8月/9月

M T W TH F

の

(•XHI 9

12 13 14 15 16

19 20 21 22 23

26 27 28 29 30 (17)

x 人のヒューマン 4 5 6

9 10 11 12 13

16 17 18 19 20

23 24 25 26 27 (20)

30

2024年10月発売

M T W TH F

1 2 3 4

7 8 9 10 11

X の= = = =

21 22 23 24 •

28 29 30 31 (17)

2024年11月発売

M T W TH F

1

4 サイズ 6 7 8

X 12 13 14 15

18 19 20 21 22

25 26 PTの X = (17)

2024年12月発売

M T W TH F

2 3 4 5 6

9 10 11 12 13

16 17 18 19 20

= = Xの= =

= = (15)

2025年1月発売

M T W TH F

X の= •

6 7 8 9 10

13 14 15 16 17

X 21 22 23 24

27 28 29 30 31 (19)

2024年2月

M T W TH F

3 4 5 6 7

10 11 12 13 XHIの

= 18 歳 19歳20歳 21歳

24 25 26 27 28

(19)

2025年3月発売

M T W TH F

3 4 5 6 XHIの

= = = = =

17 18 19 20 21

24 25 26 27 28

2025年4月発売

M T W TH F

1 2 3 4

7 8 9 10 11

14 15 16 17 =

= 22 23 24 25

2025年5月発売

M T W TH F

1 2

5 6 7 8 9

12 13 14 15 16

19 20 21 22 • (16)

5 緊急日数は含まれていません

カレンダーの凡例		ローラルスクールの休暇	
ローラルスクールの休暇	X	レイバーデー	9月4日
機関	• (4)	コロンブス・デー	10月9日
不参加	=	投票日	11月8日
学校が始まる	(退役軍人の日	11月11日
学校閉鎖)	サンクスギビングデー	11月23日
半日サービス中	XHIの (3)	クリスマス	12月25日
終日PT会議	PTの (1)	元旦	1月1日
学校改善の日免除	Δ (1)	M.L.キング・ジュニア・デー	1月15日
生徒の出席日	175	大統領の日	2月19日
		戦没将兵追悼記念日	5月27日

学生は、次の日に1/2日のみ出席します。

8月^{8日}・2月号 3月^{16日} 第8回

次の日には学生のための学校はありません。

8月^{7日}・9月4日^{& 15日}・10月^{9日~13日}・27日[・]11月^{10日}・22日[・]23日[・]24日[・]
 12月[・]3月^{20日~1月3日}・1月^{15日}・2月^{19日} 11日~15日[・]29日[・]
 4月^{第1回} & 5月^{8日 第23回}
 号

目次

CUSD#5 ミッションステートメント	7
CUSD#5 教育委員会と地区スタッフ	8
CUSD#5 建物の連絡先情報	8
紹介	9
教育委員会の目標	9
学校の安全	9
一般情報	10
従業員の行動基準	10

年次アスベスト通知	10
入学手続き	10
保護者とのコミュニケーション	10
7年生と8年生の教職員	11
ベルスケジュール	12
必修科目と選択科目	13
スケジュール変更	13
宿題	14
オナーロール	16
8年生のクラスプロモーションスピーカー	16
評価と進捗報告	16
昇進と維持	17
MTSSの	17
ROARマトリクス	18
テストとスクリーニング	19
特別支援教育プログラム	19
緊急時の手順	20
書籍および財産に関する規制	20
相互報告	20
インターネットの利用状況	20
学生のソーシャルネットワーキングのパスワードとWebサイトへのアクセス	21
コンピュータとインターネットの利用規約	21
教育工学に関する保護者への年次通知	22
G Suite for Education	23
家族旅行やその他の親の言い訳による欠席の補講	24
健康と医療	24
自殺とうつ病の認識と予防	30
校庭の訪問者	30
ホームレスの子供たち	30
バス輸送	30

ドライバーの責任	31
課外活動と課外活動	31
募金	31
学生のための保険	31
資料の配布	31
学校財産の手入れ	32
遺失物	32
朝食/昼食プログラム	32
学校での食べ物/飲み物	32
ガムとキャンディー	32
フードデリバリー	32
図書料金	33
学費免除	33
電話での使用	33
プランナー	33
学生スポーツパス	33
差別の禁止	33
児童虐待とネグレクト	34
フラッグセレモニー/黙祷	34
気象条件やその他の緊急事態の脅威	34
学生記録	34
スカイワード・ファミリー・アクセス	34
録画	35
キャンパス内の立ち入り禁止区域	35
行動と規律	35
名誉コード	35
スクールスピリット	37
学生の行動	37
懲戒処分の定義	38
抑留	38

停学と除名	38
権限の委譲	39
ルールとレギュレーション	39
行政処分	41
ヒアリングの手順	42
出席	45
免除された市の欠席	46
遅刻	46
登校拒否	46
ドレスコードの理念	47
衣料品への期待	47
ドレスコードの施行	48
ダンスの資格	48
中学校行事における生徒・来場者の行動	48
バスケットボールの試合に関する学生ポリシー	49
学生検索	49
金属探知機ワンド	49
セクハラ	49
セクシャルハラスメントリソース	49
ギャングとギャング活動	50
いじめ、脅迫、嫌がらせ	50
薬物乱用ポリシー	52
許可されていないアイテム	53
個人用電子機器	54
電子書籍リーダー	55
徘徊	55
課外ハンドブック陸上競技学校活動への学生の参加:総	56
教育の残りの半分課外プログラムコードの目標課外活動	56
参加者の一般的な行動倫理的および道徳的基準	56
	57
	57
	58

カータービルコミュニティユニット学区#5

教育委員会デビッド・シュワルツ、ドナルド・E・イエウェル副会

監督者アシスタント 監督官管理アシスタント、理事会書記買掛金簿記係地区簿記係会計係輸送ディレクターフードサービスディレクターメンテナンスディレクターテクノロジーディレクターコンピューター技術者

アダム・コンプトンサラ・クリーズブラッドリー・グリフィス

キンバー・モンク

アーロン・サイズ
モアサラ・バーン
スタブルジェフ・ハートフォードケリー・シェラデン
ステファニ・マコーガンショーン・ランターニユラスティ・トンプソン
マイケル・ブラッドフォードドナ・ライブリービル・レンジャック・アングリンアンドリユー・ダン

カータービルコミュニティユニット学区#5— ユニットオフィス

200ウェストプラザドライブ

イリノイ州カータービル62918

(618)985-4826(電話)

(618)985-2041(ファックス)

カータービルコミュニティ高校

1415 ウェストグランド

イリノイ州カータービル62918

(618)985-2940(電話)

(618)985-2741(ファックス)

カータービル中学校

816S.ディビジョン

イリノイ州カータービル62918

(618)985-4500(電話番号)

(618)985- 3402(ファックス)

カータービル中学校
300スクールストリート
イリノイ州カータービル62918
(618)985-6411(電話)
(618)985-2492(ファックス)

トライC小学校
1405 ウェストグラウンド
イリノイ州カータービル62918
(618)985-8742(電話)
(618)985-4907(ファックス)

紹介

このハンドブックは、発生する可能性のあるすべてのシナリオに対処できないという点ですべてを網羅しているわけではありませんが、それでも生徒と保護者にとって便利で理解しやすいガイドです。教育委員会は、教育委員会の能力や、教育委員会の管理者や教員が、ここに具体的に記載されていない状況に対応する能力を制限することを意図していません。このハンドブックは、必要に応じて学年を通じて変更されることもあります。

教育委員会の目標

目標 I 学習を助し、効率的で変化に適応できる安全な環境を提供する
目標 II すべての生徒の高水準を強調し、学業成績に取り組み、労働倫理、人格、市民としての責任を育む教育機会を提供する
目標 III 短期的および長期的な方向性を示す戦略計画を維持することを約束する
目標 IV 各ポジションに最適な候補者を積極的に採用し、従業員のモチベーションを高める文化を醸成する
高い水準の達成と能力開発を追求し、各従業員の貢献を重視する
目標 V 学区に誇り、関与、関心を植え付ける前向きな学校/コミュニティの関係を確保する
目標 VI 進歩的な地区の方針、行政支援、戦略的計画、およびすべての構成員への説明責任を通じて、積極的なリーダーシップを提供する

学校の安全

すべての保護者が、子供と一緒に学生保護者ハンドブックを読み、確認することを強くお勧めします。また、保護者、生徒、教師、行政の皆さまが協力して安全な学校環境を整えることの重要性について、保護者の皆様にお話し合ってください。以下は、安全に関して学校コミュニティのさまざまなメンバーに期待していることです。

1. 生徒- 私たちは、生徒が学校の安全を危険にさらす可能性のある議論や陰謀について保護者や学校関係者に通知することを期待しています。学生は、安全な学習環境を維持する責任を共有する**必要があります**。
2. 保護者- 保護者は、学校の安全に関する情報を学校関係者と共有することを期待しています。生徒、保護者、学校関係者が協力して、学校の安全に関する情報を共有する必要があります。**CJHS**への電話番号は**985-4500**で、当社の **Web サイト (FriendWatch)** の匿名の報告リンクを使用することもできます。フレンドウォッチをご利用の場合は、スタッフが調査を行ったり、状況を処理したりできるように、十分な詳細情報を提供してください。生命を脅かす可能性がある場合や緊急性があり、学校が休みの場合は、すぐに警察署に連絡してください。

3. 教師、サポートスタッフ、および管理者- すべての教師とサポートスタッフは、学校の安全を危険にさらす可能性のある議論や陰謀を報告することを期待しています。私たちは、学校の安全が危険にさらされている可能性があるという証拠を行政が調査することを期待しています。

一般情報

人種、肌の色、出身国、性別、宗教的信念、身体的および精神的障害または障害、性的指向、または実際のまたは潜在的な婚姻状況または親の状況に関係なく、すべての学生に平等な教育および課外活動の機会が提供されるものとします。コンプライアンスに関するお問い合わせは、以下宛てにお送りください。サラ・バーンスタブル夫人、カータービル監督ユニット#5地区306バージニアストリートカータービル、イリノイ州62918

従業員の行動基準

学区は、生徒ハンドブックに学区の従業員職業行動規範を含める必要があります。これらの基準は、部分的には、学校の従業員と生徒の間の適切な行動を定義しています。これらの基準のコピーは、地区のウェブサイトで見つけるか、監督官室に要求することができます。

アスベスト通達

アスベスト含有材料の管理に関する連邦AHERAガイドライン(ACM)の規制に準拠するために、次の通知がリリースされています。検査報告書と管理計画書は、各学校事務所とユニットオフィスで確認するためにファイルされています。この通知は、ACMの場所を建物の居住者および親法定後見人に通知するためのものです。米国環境保護庁は、アスベストが潜在的な健康被害であると判断しており、ACMを妨害しないように予防措置を講じる必要があります。検査は、既知または想定されるアスベストの状態の変化を判断するために実施されます。アスベストの危険性を認識している清掃および保守担当者は、ACMの妨害から適切に保護するために、作業中に特別な予防措置を講じます。建物居住者の健康を守るために、必要に応じて追加の対策が講じられます。アスベストを含む物質は、以下の校舎で発見されました。

- カータービル中学校- 816部門-イリノイ州カータービル62918

上記の建物の検査レポートと管理計画は、午前8時から午後4時まで、イリノイ州カータービルの306バージニアアベニューで62918の営業時間内に確認できます。

入学手続き

地区に初めて入学する学生は、出生証明書またはその他の信頼できる身元と年齢の証明、居住証明書、病気の予防接種または検出の証明、および州法で義務付けられている必要な身体検査を提示する必要があります。

保護者とのコミュニケーション

生徒の学業成績に関する保護者とのコミュニケーションは、生徒の評価プログラムの重要な部分です。学校は、生徒の学業プログラムや生徒の行動に問題が発生した場合、保護者に通知します。カータービルユニット#5は、

懸念が発生した場合、保護者が子供の教師に相談することを奨励しています。教師と懸念を解決できない場合は、建物の校に照会する必要があります。ほとんどすべての状況で、問題は親と教師のレベルで解決できます。最終的には、問題は教育に照会され、場合によっては教育委員会に照会される可能性があります。

カータービルユニット#5は学校を解散し、秋に保護者と教師の会議の日を迎えます。ユニット#5の教師は、必要に応じて、生徒の最善の利益のために、学年度中の他の時期に各生徒の保護者と会います。

7年生と8年生の教職員

教員のポジション

シャウナ・バーバーケイティ・プラターケイティ・アクレイ(7年生)キャリー・バノフズ(7年生/8年生)テイラー・ブラック(8年生)ブライアン・ブラウンマギー・ドーシーケイトリン・ヘイル(7年生/8年生)アンディ・ハレル(8年生)ガブリエル・ハーブスト(8年生)ケビン・ジョーンズ(7年生/8年生)キム・クラーツ(7年生)マドレーヌ・リリー(7年生)エイミー・ミドルブルックス(7年生)コール・ムーア(7年生/8年生)ダニエル・ノリントン(7年生/8年生)ニコール・ポーゲンドルフ(7年生)キーガン・ロビンズ(8年生)クリスティン・ラッセル(7年生)メーガン・セージ(7年生/8年生)ウェイロン・シュラバツハ(7年生/8年生)リサ・スキート(8年生)マリア・スティール(8年生)グレード)クリスタ・アントリム、シャノン・ウェガー(7年生)、キャリー・ウィリアムズ(8年生)、カーリン・ジーマーマン(7年生/8年生)

メルアド

プリンシパル・アシスタント・プリンシパル英語/国語デジタルリテラシーと責任科学/社会科ユニットソーシャルワーカー特殊教育数学数学英語/国語保健/体育数学社会科英語/国語アートバンド科学/社会科社会科特殊教育保健体育キャリアと技術教育科学英語/国語スクールカウンセラー科学特殊教育合唱団

sbarber@cartervilleschools.org
kprather@cartervilleschools.org
kacray@cartervilleschools.org
cbanovz@cartervilleschools.org
tblack@cartervilleschools.org
bbrown@cartervilleschools.org
mdorsey@cartervilleschools.org
khate@cartervilleschools.org
aharrell@cartervilleschools.org
gherbst@cartervilleschools.org
kjones@cartervilleschools.org
kkraatz@cartervilleschools.org
mlilley@cartervilleschools.org
amiddlebrooks@cartervilleschools.org
cmoore@cartervilleschools.org
dnorrington@cartervilleschools.org
npoggendorf@cartervilleschools.org
krobbins@cartervilleschools.org
krussell@cartervilleschools.org
msage@cartervilleschools.org
wschiabach@cartervilleschools.org
lskeate@cartervilleschools.org
msteele@cartervilleschools.org
kantrim@cartervilleschools.org
sweger@cartervilleschools.org
cwilliams@cartervilleschools.org
czimmerman@cartervilleschools.org

サポートスタッフ

秘書

キャシー・パケット

cpuckett@cartervilleschools.org

秘書	アビー・レーン	alane@cartervilleschools.org
養護教諭	モンタナ・ハルステッド	mhalstead@cartervilleschools.org
図書館補佐官	レイチェル・アマロ	ramaro@cartervilleschools.org
介入	ポーラ・ギブソン	pgibson@cartervilleschools.org
介入	ヘザー・スミスピーターズ	hsmithpeters@cartervilleschools.org
介入	クリスティ・ウーラード	cwoolard@cartervilleschools.org
ELL/インターベンショニスト	エイプリル・ケイン	akain@cartervilleschools.org
自習室監修者	エイプリル・ケイン	akain@cartervilleschools.org
保管人	デウェイン・ヒルマン(リード・カストディアン)	dhillman@cartervilleschools.org
保管人	マット・ストックス	mstocks@cartervilleschools.org
料理する	ティファニー・ケル(料理)	tkell@cartervilleschools.org
料理する	ダーラ・ブリューワー	dbrewer@cartervilleschools.org
料理する	ジル・ホルダーフィールド	jholderfield@cartervilleschools.org
料理する	ブレンダ・ウッド	bwood@cartervilleschools.org
学生指導教員	リア・フローレス	lflores@cartervilleschools.org
学生指導教員	リタ・クック	rcook@cartervilleschools.org
教師の補佐官	ブライアン・ディクソン	bdixon@cartervilleschools.org
教師の補佐官	ヘザー・シェイ	hshea@cartervilleschools.org

ベルスケジュール

- 1 8:03-8:57(アナウンスに2分追加)
- 2 9:00-9:52
- 3 9:55-10:47
- 4 10:50-11:42

A食 11:45-12:20 (35)

5a 11:45→ 12:37

Bランチ 12:40-1:15 (35)

5b 12:23-1:15

6 1:18-2:10

7 2:13-3:05 半日は午前11時30分に解散します。その日は朝食を提供していますが、昼食は提供していません。

必修科目

以下の科目は、それぞれの学年のすべての生徒に必要です。

7年生

国語または Algebra 1 または 代数、社会科

7 または Acc. Math 7

社会科理科体育・保健体育・健康デジタルリテラシーと責任(1学期)

8年生

選択科目

学生は、それぞれの学年について、次の選択科目のリストから選択することができます。

7年生

アート(1学期または2学期)

バンド

ラボ合唱団

自習室(1学期または2学期)

見出しから引き裂かれた(学期)

音楽鑑賞(セメスター)

コンピュータアプリ1(セメスター)

文学としての映画(学期)

ディストピア(学期)

神話(学期)

DesignstoReality(セメスター)

8年生

アート(1学期または2学期)

バンド

ラボ合唱団

自習室(1学期または2学期)

見出しから引き裂かれた(学期)

音楽鑑賞(セメスター)

コンピュータアプリ1(セメスター)

文学としての映画(学期)

ディストピア(学期)

神話(学期)

DesignstoReality(セメスター)

自習室と選択科目を除くすべてのクラスは、成績平均点(GPA)の計算で考慮されます。

スケジュール変更

クラス間の競合や実際のスケジュールリングエラーなど、スケジュールの問題が発生することがあります。このようなスケジュールの変更は、管理的な性質で行われます。特定の教師が教えるコース、または特定の時間に教えるコースのスケジュール変更は、強い正当性がある場合にのみ行われます。

スケジュールの変更は、各学期の最初の5日間、または学生がこれまでに経験したことの無い選択科目の場合は(10)日間(7)日に要求できます。スケジュール変更の申請は、オフィスで行うことができます。すべてのスケジュール変更には、次の手順が適用されます。

1. 追加するコースに空きがあります。
2. 学生のスケジュールに対して最小コース負荷が残ります。
3. 変化は教育的に健全です。

4. 変更は、保護者、追加するクラスの教師、およびドロップするクラスの教師の書面による許可を得て行われます。
5. 生徒と保護者が、5日間の期間を過ぎても段階的な選択クラスをやめたい場合は、することができます。ただし、学期にはFの成績が記録されます。

宿題

哲学：

宿題は、生徒に学習を適用し、必要な練習を経験する機会を提供します。また、生徒のある程度の自立心を育み、自分の成果に責任を持つ機会を提供することを目的としています。

具体的な目的:

- 1) 授業で学んだスキルを実践する機会を提供する
- 2) 主体的に活動する方法を学ぶ機会を提供する。
- 3) 保護者が子どもの学習に関与する機会を提供する

宿題のガイドライン:

宿題の種類:

-準備-生徒が次のレッスンに備えるために与えられます-完了-クラスで完了していない課題-練習-クラスですすでに教えられたレッスンを強化し、スキルを強化するように設計されています-エンリッチメント-レッスンの充実と拡張のための挑戦的な学習機会を提供することを目的としています-独立した読書宿題の質:宿題のスコアは、特定の科目の生徒の成績に平均化されます。学生はすべての課題で最善を尽くすことが不可欠です。生徒は宿題から多くの重要なスキルを学びます。課題によっては、宿題が完了していないと、生徒の成績に大きな影響を与える可能性があります。

遅延課題:

作業が遅れた場合でも、提出する必要があります。初日の宿題は^{7年生}に遅れ、**20%**減ります。2日目は遅くなり、**40%**減ります。その時点以降、作品が受領されるまでSkywardにゼロが入力されます。作品が提出されなかった場合、生徒は課題にゼロを受け取ります。

初日の宿題は^{8年生}に遅れ、**50%**減ります。その時点以降、作品が受領されるまでSkywardにゼロが入力されます。作品が提出されなかった場合、生徒は課題にゼロを受け取ります。

選択科目はデフォルトで8年生のポリシーになります。初日は選択科目の宿題が遅れると、**50%**減ります。その時点以降、作品が受領されるまでSkywardにゼロが入力されます。作品が提出されなかった場合、生徒は課題にゼロを受け取ります。

課題が提出されない場合、特別なイベントからの除外、放課後の必須の個別指導、居残り、およびACRはすべて、生徒が課題を完了するためのさらなる機会として使用できるオプションです。

メイクアップワーク:

学校を欠席している生徒は、補講の課題を完了することが不可欠です。補講の依頼は生徒と保護者の責任で行っ

てください。補講は欠席中に欠席したクラスの課題を反映する必要があり、生徒は欠席に関連する課題を提出するために、免除された欠席日ごとに1日の授業日が許可されています。作業が時間どおりに完了しない場合、遅れた割り当ての結果が実施されます。

学年ごとの学校の夜ごとの宿題の推奨量:

7年生平均的な学習者の場合、夕方あたり最大**70分**平均的な学習者の場合、**8年生**:夕方あたり最大**80分**お子様が宿題を完了するために一晩に推奨される最大時間を超えて費やしている場合は、お子様の教師または校 に連絡してください。ご連絡をお待ちしております。

教師の責任:

- 各教師からの宿題に対する期待の明確な声明は、学年度の初めに生徒に与えられるべきです。
- 宿題は、特定の教育目的と、教室での活動、テーマ、目的などに関連して割り当てられる必要があります。
- すべてのタスクを明確に説明する必要があります。該当する場合はいつでも、簡潔な書面による指示により、保護者は関連するタスクを明確に理解できます。
- 新しい概念を宿題として導入してはいけません。この例外には、学校を欠席したために割り当てられた課題(病気、旅行など)や、クラスで新しいユニットが導入される前に割り当てられた事前読書活動が含まれる場合があります。
- 宿題の推奨時間のガイドラインを遵守してください
- 生徒が宿題を記録し、宿題の資料を準備する時間を毎日作る必要があります。 学生の責任:

-
- すべての課題で最善を尽くすこと
 - 時間通りに課題を完了するため
 - 欠席から戻ったらすぐに教師に連絡し、補講を取得し、作業の期日を設定する
 - 教室での指導に続いて、生徒は宿題を受け取ることができます。これらの課題は、自習室または通常の学校の日外に完了する必要があります。
 - カータービル中学校の生徒は、すべてのクラスに手帳を携帯することをお勧めします。割り当てはプランナーに書き込まれます。プランナーを使用して、毎日の宿題を記録することを強くお勧めします。

親の責任:

- 教室での指導に続いて、生徒は宿題を受け取ることができます。これらの課題は、自習室または通常の授業時間外に完了する必要があることを理解してください。
- 課題を成功裏に完了するために必要なサポート、ガイダンス、および構造を提供する
- お子様が働くための静かで明るい場所を提供すること。集中力を高めるために、テレビ、電話、ステレオなどの近くでの作業は避けてください。
- 定期的な宿題のルーチンを奨励するようにしてください。宿題を終わらせるために、あなたとあなたの子供の両方に適した時間を設定します。
- 子供の仕事を乗っ取らないでください。課題を監督し、質問をし、提案を提供しますが、仕事をしたり、答えを書いたりすることは避けてください。
- 目の前のタスクについて肯定的になります。学校、宿題、または学校関係者に対する子供の態度に影響を与える可能性のある否定的なコメントは避けてください。
- 平均して、お子様が宿題を完了するために推奨される割り当て時間を超えて費やしている場合は、お子様の先生に連絡してください。情状酌量の余地がある場合は、お子様の担任の先生に報告してください。
- 補講を依頼するための欠席について、オフィスを通してタイムリーに学校に連絡すること。お子さんのメイクアップ作業を監視します。

- 毎晩、お子様のブックバッグ、手帳/ノート、ノートなどをチェックして、お子様のタスクが何であるか、いつ期限が来ているかを確認します。

名誉ロール

アカデミックオーナーロールに掲載されるには、特定の9週間の期間で少なくとも4.50の成績平均点を維持する必要があります。高い名誉に就くには、9週間で少なくとも4.75を維持する必要があります。優等生名簿の表彰は、コアクラスで獲得した成績に基づいており、言い換えれば、選択科目の成績はGPAに考慮されません。CJHSは、第1学期、第2学期、第3学期の終わりと年末に、優等生名簿を作成した学生を表彰します。リストは学校とコミュニティで共有されます。

8年生のクラスプロモーションスピーカー

8年生の昇進クラスのスピーカーは、次の基準を使用して選択されます:累積³年生のGPA(成績平均点)による3人の生徒のリストがすべての中学校教師に提出されます。教師は、昇進式でクラスを代表するべきだと思う生徒を1人選びます。成績平均点が同点であるために3人の学生のリストを増やす必要がある場合は、最後の位置で同点のすべての学生がリストに含まれます。

評価と進捗報告

各教師は、教室で各生徒の学業成績を評価する責任があります。利用される評価手順には、クラスへの参加、宿題の割り当て、クラスの割り当て、クラスのプロジェクト、教師の観察、クイズ、および試験が含まれます。

生徒の学業の進歩に関する保護者とのコミュニケーションは、生徒の評価プログラムの重要な部分です。これは継続的なプロセスであり、各採点期間の終わりに生徒の学業の進捗状況に関する正式なレポートが保護者に提供されます。進捗状況レポートは、お子様の学業の進捗状況をさらに伝えるために、中間学期にすべての保護者が利用できます。ユニット#5の7年生と8年生の成績評価システムは次のとおりです。

A	- 100 %
A-	90 - 91 %
88	88 – 89 %
B	の 82 - 87 %
B-	80 - 81 %
78	78 – 79 %
C	72 - 77 %
C-	70 - 71 %
68	68 – 69 %
D	発 62 - 67 %
D-	60 - 61 %
F	59%以下

その年の最終成績を決定するために、4学期にわたるすべての成績(宿題、テスト、小テストなど)の平均が計算されます。最終的なGPAは、4つの学期のGPAを加算し、4で割ることによって決定されます。

プロモーションとリテンション

場合によっては、学生は特定の学年レベルで学業要件を習得するのが難しい場合があります。このような状況では、委員会が招集され、生徒が次の学年レベルへの昇進に必要なスキルセットを持っているかどうかを判断します。委員会は、出席、成績、学力テストの点数、過去の学歴、教師の推薦、カウンセリング情報、総括的な総合試験など、さまざまな情報を使用してこの決定を下す場合があります。このグループは、第3学期の成績が確定した後に招集されます。保護者は、子供がコースに失敗した場合、スタッフから年間を通じて通知されます。

MULTI-TIER SYSTEM OF SUPPORTS (MTSS)

これは、生徒の高レベルの学習を確保するために地区全体で実施しているすべてのサポートシステムを網羅するグローバルな用語です。この包括的な用語の下に、カータービルユニット#5には、学習に影響を与えるさまざまな分野に焦点を当てた教師、保護者、管理者のチームがあります。これらのサポートシステムを以下にリストし、定義します。

介入への反応(Rti)-介入への反応は、学習が困難な子供たちに早期の体系的な支援を提供するために使用される学術的介入の方法です。Rtiは、早期介入、頻繁な進捗状況の監視、および学習困難の兆候を示す子供に対するますます集中的な研究ベースの教育介入を通じて、学業の失敗を防ぐことを目指しています。全生徒のユニバーサルスクリーニングは、学年を通じて3回行われます。これらの評価は、追加の学業支援が必要な学生を特定し、学業の成 レベルを示すために使用されます。

肯定的な行動介入とサポート(PBIS)-積極的な行動介入とサポート(PBIS)は、学校のすべての生徒が社会的、感情的、学問的な成功を達成するために必要な行動サポートと社会文化を確立するための積極的なシステムアプローチです。

カータービル中学校は、生徒の個々のニーズを満たし、学問的および社会的感情的可能性を最大限に高め、サポートすることにより、生徒に力を与え、サポートすることに取り組んでいます。生徒は自立と敬意のある市民権のスキルを示し、保護者や教師と協力して社会の生産的なメンバーになることでコミュニティに貢献します。

カータービル中学校では、私たちは大きな期待を抱いており、挑戦的な学業目標を達成するためにすべての生徒を教育するよう努めています。共同学習チームとして、私たちはパートナーシップを組んで、学生が学習の可能性を最大限に発揮できるようにサポートし、実現できるようにしています。共通の知識、共通の言語、共通の期待など、私たちの共通の教育目的は、私たちの学問的成功の鍵です。

CJHSはPBISプログラムを実施しています。PBISの目的は、学校の雰囲気改善し、生徒が学校コミュニティの責任あるメンバーになることを教え、積極的で前向きで一貫した方法で生徒の挑戦的な行動を減らすことです。この研究ベースのプログラムは、学生の学業成績と社会的能力を向上させます。

私たちの目標は、PBISプログラムを利用して、自己、他者、環境の尊重に関する前向きな行動を認識することです。私たちは、行動の期待を教え、生徒の肯定的な行動を認識し、一貫した明確な方法で否定的な行動に対処することに焦点を当てます。

上記の学問的および行動的システムを通じて、教員、保護者、および管理者は、学生の情報を確認して、教育を妨げる要因を特定することができます。子どもの成功を確実にするための介入と治療戦略は、現地で実施されます。これらの介入および是正戦略には、Rti介入、カリキュラム調整、懲戒処分、親のサポート、ボランティアチューターサービス、緊急時対応計画と戦略、代替教育プログラム、および特殊教育の紹介が含まれる場合があります。

カータービル中学校の行動期待マトリックス:R.O.A.R.

バス	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> Iはバスの運転手に敬意を払い、 その他の学生 <input type="checkbox"/> I内の声で話します <input type="checkbox"/> Iは大人からのすべての指示に従います 初回 	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> Iの回り品をメンテナンスしている バス中 <input type="checkbox"/> I全でないものや バス運転手への不適切な行 動 <input type="checkbox"/> Iち物は全部集める バスを降りる前に 	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> Iは心に留めています バス内およびバス周 辺の他の人の安全 <input type="checkbox"/> Iはすべての安全に従い、 バスのルール <input type="checkbox"/> I路を空けておきます もちもの 	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 危険があれば報告します またはバス運転手へ の不適切な行動
バスルーム	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> I設を綺麗に保ちます <input type="checkbox"/> Iと足を独り占め <input type="checkbox"/> Iはバスルームに敬意を払います 財産 <input type="checkbox"/> I校にふさわしい言葉遣いをします 	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> I間を賢く使う <input type="checkbox"/> I用後は洗い流す <input type="checkbox"/> Iーパータオルを ごみ箱 <input type="checkbox"/> I乱があれば、 大人 	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> Iを洗うのは後です 浴室利用 <input type="checkbox"/> 危険を報告する 成人または保護者へ の条件 	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> Iはクラスに戻ります タイムリー <input type="checkbox"/> 私は最も近い トイレ設備
カフェテ リア/Gイ ムナシム	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> Iと足を独り占め <input type="checkbox"/> I切な言葉遣い/口調を使う <input type="checkbox"/> I度な内声を使う <input type="checkbox"/> Iは自分の場所を並べます <input type="checkbox"/> Iお願いします」と「ありがとう」と言い ます <input type="checkbox"/> I人の財産を尊重します 	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> Iはタイムリーにすべての食べ物の代金を支払います 方法 <input type="checkbox"/> I定された座席/エリアに滞在する 解雇されるまで <input type="checkbox"/> Iべ物や飲み物を常備しています 食堂 <input type="checkbox"/> Iーブルを片付けて投げる ゴミを捨てる 	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> Iは直接行きます 指定地域 <input type="checkbox"/> I康に 選択肢 <input type="checkbox"/> I人の言うことを聞く 監督 <input type="checkbox"/> Iも足も、 と自分に言い聞かせて 	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> Iフェテリアに直行 <input type="checkbox"/> I間を生産的に使う <input type="checkbox"/> I去の許可を求めます 指定地域
廊下/ロッ カー	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> Iと足を独り占め <input type="checkbox"/> Iはいつも歩きます <input type="checkbox"/> Iりの人に気を配っている <input type="checkbox"/> Iは適切な言葉を使います 仲間と大人 <input type="checkbox"/> I度な内声を使う <input type="checkbox"/> I定されたロッカーを使用します 	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> Iジャケットやコートを収納したり、 ロッカーのバックパック <input type="checkbox"/> Iは携帯電話のデバイスを 建物に入るとすぐにバイブレ ーションモードになります <input type="checkbox"/> I下やロッカーは置いてあります 整頓 	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> I険を報告する 大人へのいじめ <input type="checkbox"/> Iは援助を与える <input type="checkbox"/> Iは右に曲がってください <input type="checkbox"/> Iッカーは保管しています コンビネーションプラ イベート 	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> Iは目的を持って歩きます <input type="checkbox"/> Iはすべての材料を持っています 私のクラスの必要性 <input type="checkbox"/> I物は預かります 私のロッカーで
教室・図 書室	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> Iーソナルスペースを意識している <input type="checkbox"/> I極的に議論を交わす <input type="checkbox"/> Iは自分の順番を待ちます <input type="checkbox"/> Iは熱心に耳を傾けます <input type="checkbox"/> I論は教室で行います 話題 <input type="checkbox"/> I切な言葉遣いをします <input type="checkbox"/> Iめて指示に従う 	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> I業中ずっと働いています 指示通り <input type="checkbox"/> Iループで参加している <input type="checkbox"/> I室、仕事場、 そして材料は適切に <input type="checkbox"/> Iち物は全部集める 教室を出る前 	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> I定されたエリアに滞在します 解雇されるまで <input type="checkbox"/> I耗品を正しく使用する <input type="checkbox"/> Iと足は 自分 	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> Iべてを完了して提出します 時間通りに作業する <input type="checkbox"/> Iは席に座っています。 鐘が鳴る <input type="checkbox"/> I要なものはすべて持参します 教材・課題書 <input type="checkbox"/> Iは助けを求めます

<p>すべての学校環境(校外学習、集会、スポーツイベント、クラブ、課外活動など)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> I直に言います <input type="checkbox"/> Iパーソナルスペースを意識している <input type="checkbox"/> I切な言葉遣いをします <input type="checkbox"/> I度な内声を使う(音量/トーン) <input type="checkbox"/> Iはすべての教師、ゲスト、そして適切にピアリングする 	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> Iは学校を知っていますし、フォローしています 期待 <input type="checkbox"/> Iレコードを守っています <input type="checkbox"/> Iすべてのエリアをすっきりと保ちます <input type="checkbox"/> I物に出入りします 直ちに 	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> トイレを使ったり、使用目的のための噴水 <input type="checkbox"/> 異常なことや信頼できる大人への不審な行動 	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> I間通りに到着 <input type="checkbox"/> I加する準備はできています <input type="checkbox"/> Iイレを使ったり、眠つぶし時の噴水 <input type="checkbox"/> Iは他の人を助けます
	<p>R 敬意を表する</p>	<p>o 組織化</p>	<p>常に安全</p>	<p>Rの責任者</p>

検査・スクリーニング

教育委員会は、学力、達成度、行動、適性に関する標準化されたテストで、地区内のすべての子供たちの習熟度に関する情報を提供するように設計されたシステム全体のテストプログラムを承認しました。これらのテストの結果は、国の基準と比較して、各子供の学業と行動の進歩の継続的な記録を提供します。また、より効果的な個別指導と介入を提供するために、個々の所と短所を診断する際に、お子様の教師やカウンセラーにとって非常に貴重な支援となります。毎年、教師とスタッフはこの情報を確認して、個別の指導を行っても教育に支障をきたし続ける問題を示す可能性のある生徒を特定します。すべての検査の結果は、保護者/保護者が利用できます。特定の検査やその目的について質問がある保護者は、ガイダンスカウンセラーに連絡してください。

特別支援教育プログラム

地域のリソースが枯渇し、個別の介入で改善できなかった教育的または行動上の問題を示し続ける学生の場合、特殊教育サービスの紹介がウィリアムソン郡教育サービス、411サウスコートストリート、マリオン、イリノイ 62959に行われます。

この紹介は、保護者、教師、または校の要求に応じて、保護者の同意を得て、建物の校に連絡することにより開始できます。署名された親の許可書は、常に特殊教育への紹介の一部です。

情報は、通常、心理学者、ソーシャルワーカー、言語聴覚士、および必要なその他の診断医で構成される学際的なチームによって収集されます。さらなる特殊教育サービスが必要かどうかについて決定が下されます。招待は、会議当日の10日前に、保護者、学校関係者、および学際的なチームのすべてのメンバーに送信されます。保護者は、自分の裁量で他の利害関係者を招待することができます。

会議では、すべての参加者が情報とテストデータを発表するよう招待されています。生徒の教育ニーズについて、グループで決定します。学際的なスタッフ会議は、学生が特別なサービスを受ける資格があるかどうかを宣言します。学生が資格がある場合、その学生にとって最も制限の少ない環境でサービスを提供するための個別教育プログラム(IEP)が開発されます。

生徒が障害があり、特殊教育サービスが必要であるという決定が下され、保護者が教育の配置および/またはサービスに同意する場合、プログラムを実施するには、保護者が許可書に署名する必要があります。

すべての障害のある学生(学習障害、身体障害、精神障害、行動障害、言語障害、その他の健康障害、視覚聴覚障害など)のための特別な教育プログラムと関連サービスの完全な連続体3~21歳は、カータービルコミュニティユニット学区#5によってウィリアムソン郡教育サービスを通じて、診断研究および学際的を通じて適格であると判断された学生に提供されます会議の手順。

緊急時の対応

消防訓練、 巻、地震、ロックダウン、その他の安全手順について、スタッフが話し合います。年間を通して定期的に訓練を行います。先生が部屋で従うべき緊急時の手順を説明するので、注意深く耳を傾けることが非常に重要です。 注 - 学校や生徒の安全を脅かす可能性のあるものを見たり聞いたりした場合は、時間帯に関係なく、すぐに当局(教師、大人、警察など)に連絡してください。

図書規則

割り当てられたすべての本(図書館の本と教科書)は、できるだけきれいに保つ必要があります。ユーザーは、紛失または破損したすべての書籍の料金を支払います。

プロパティ規制

生徒は私物を家に置いておくことをお勧めします。ロッカーや収納スペースなどは用意されていますが、他の生徒に所持品が盗まれたり破損したりすることがあります。教職員は、学生が自分の持ち物を保護するのを支援するためにあらゆる努力をします。但し、紛失・破損については当校では一切の責任を負いません。

1. 学校は、学校での生徒のアイテムの紛失または盗難について責任を負いません。
2. 教師は、部屋に置き忘れた物品について責任を負いません。
3. 見つかった財産は、オフィスに持ち込む必要があります。
4. 遺失物を探す学生は、そのような財産を請求するためにオフィスに来る必要があります。
5. 引き取り手のないアイテムは遺失物箱に入れられます。
6. お金や貴重品を持っている体育の学生は、そのようなアイテムを無防備に置いたままにしないでください。学校に不必要な金額を持ち込まないことを強くお勧めします。

相互報告

校 とカータービル警察署は、必要に応じて、学校関係者と法執行機関の職員との会議を手配し、生徒が関与または影響を与える犯罪行為に関する情報を共有します。手配された会議中に交換された情報に加えて、特定の状況の性質に応じて、学校の管理者と警察官は、次のように特定の行為に関して相互に連絡を開始する場合があります。

1. 身体に危害を加える行為、または身体に危害を加えるおそれのある行為
2. 違法薬物または規制薬物を含む行為
3. 凶器類を用いる行為
4. 暴力団活動に結びつく行為
5. 生徒、学校関係者、市 の安全・安心を脅かすおそれのある行為

インターネットの利用状況

インターネットアクセスは、カータービルコミュニティユニット学区 #5(CUSD#5) の生徒と教師が利用できません。教職員、スタッフ、学生にこのサービスを提供する私たちの目標は、リソースの共有、革新、およびコミュニケーションを促進することにより、地区の学校での教育の卓越性を促進することです。

インターネットは、世界中の何千台ものコンピューターと何百万人もの個人ユーザーをつなぐ電子スーパーハイウェイです。教職員、学生は以下にアクセスできます。

1. 世界中の人々との電子メール通信の制限
2. 政府筋、研究機関等からの情報・ニュース
3. パブリックドメインソフトウェアとあらゆる種類のシェアウェア
4. 幅広いテーマに関する選りすぐりのディスカッショングループ

5多くの公立および私立図書館、米国議会図書館、および教育資源情報クリアリングハウス(ERIC)世界中のコンピューターと人々へのアクセスにより、学校環境の文脈では教育的価値とは見なされない可能性のある資料も利用できるようになります。グローバルネットワークでは、すべての材料を管理することは不可能です。したがって、勤勉なユーザーは物議を醸す情報を発見する可能性があります。私たち (CUSD#5) は、この世界的なネットワークで利用可能な貴重な情報と相互作用は、ユーザーが州および地方の基準と一致しない資料を調達する可能性をはるかに上回ると固く信じています。人生は選択と結果の連続です。CUSD#5は、生徒がインターネットリソースを利用できるようにすることを選択し、その結果、学校のリソースだけに頼らなければならなかった場合よりもはるかに多くの情報にアクセスできるようになります。学生が学習に役立つ情報を見つけるためにこれらのリソースを使用することを選択した場合、その結果、インターネットへのアクセスが継続されます。CUSD#5の学生が好ましくない、成人向け、または制限されたリソースにアクセスすることを選択した場合、その結果、アクセス権限が一時停止または終了します。学区のアカウントを通じてインターネットにアクセスすることを選択した生徒は、そのような活動が行われる前に、学区の許容される使用契約を読んで署名し、親または保護者にも同様に署名してもらう必要があります。この契約の署名されたコピーは、本人またはその被指名人に提出する必要があります。この文書の最後にある署名は、署名した各当事者が利用規約を読み、その重要性を理解していることを示しています。

学生のソーシャルネットワーキングのパスワードとWEBサイトへのアクセス

学校関係者は、学校の懲戒規則またはポリシーに違反するソーシャルネットワーキングWebサイトの生徒のアカウントでの活動に関する特定の情報がある場合、調査を実施したり、生徒に調査への協力を要求したりすることがあります。調査の過程で、学校関係者が事実関係を判断できるようにするために、生徒は報告された内容を共有する必要がある場合があります。

コンピュータとインターネットの利用規約

I. 許容される使用

インターネットの本来の目的は、独自のリソースへのアクセスと共同作業の機会を提供することにより、米国の学術機関内および学術機関間の研究と教育を支援することでした。学校のコンピューターの使用は、CUSD#5の学習基準と一致する教育と研究をサポートする必要があります。他の組織のネットワークを使用したり、米国または州の規制に違反したりすることは禁止されています。これには、著作権で保護された素材、脅迫的またはわいせつな素材、または企業秘密で保護されている素材が含まれますが、これらに限定されません。

II. ネットワークのエチケット

- A. 礼儀正しく。攻撃的なメッセージを他人に送信しないでください。
- B. 違法行為は固く禁じられています。違法行為に関連する、または違法行為を支援するメッセージは、法的機関に報告される場合があります。
- C. あなた自身を含む CUSD#5 の学生、教師、管理者、またはその他のスタッフの個人の住所、電話番号、またはパスワードを明かさしないでください。
- D. 電子メール(電子メール)は、プライベートであることを保証するものではありませんのでご注意ください。システムを操作するユーザーは、すべてのメールにアクセスできます。
- E. 他のユーザーによるネットワークの使用を妨害するような方法でネットワークを使用しないでください。

- F. ネットワークを介してアクセス可能なすべての通信および情報は、私有財産(つまり、著作権で保護されている)と見なされるべきです。
- G. ネットワーク上でのヘイトメール、嫌がらせ、差別的発言、その他の反社会的行為は禁止されています。適切な言葉遣いをしてください。メッセージには、冒瀆的な言葉、わいせつなコメント、露骨な性描写、偏見の表現、憎悪を含めることはできません。
- H. CUSD#5アカウントでは、電子メールメーリングリストへの学生の購読は許可されていません。
- I. CUSD#5 システム管理者は、ネットワークの特定の使用が許容される使用慣行と一致しているかどうかを随時判断します。
- J. 生徒は、学校職員の監督下または授業の課題の一環としてでない限り、電子メールメッセージを送信したり、チャットルーム(または同様のインターネットベースのサービス)に参加したりすることは許可されていません。

III. 情報の正確性

インターネットを通じて入手した情報の使用は、お客様ご自身の責任で行ってください。CUSD#5は、地区のアカウントを通じて取得した情報の正確性または品質に対する責任を明確に否定します。学生の論文やレポートで使用されるインターネットソースからの情報(テキスト、グラフィック、ビデオなどを含む)は、印刷物への参照と同様に引用する必要があります。

IV. セキュリティ

コンピュータシステムのセキュリティは、特にシステムに多くのユーザーが関与している場合、最優先事項です。インターネット上でセキュリティ上の問題を特定できると思われる場合は、教師、司書、または校に通知する必要があります。他のユーザーに問題を示さないでください。ユーザーは、他のユーザーのファイル、その他のデータ、パスワードに関する情報を意図的に求めたり、そのコピーを取得したり、変更したり、ネットワーク上の他のユーザーを偽ったりしてはなりません。システムプログラムまたはコンピュータ機器への不正アクセスを試みると、ユーザー権限が取り消されます。CUSD#5コンピュータのハードドライブへの情報のダウンロードは禁止されています。すべてのダウンロードはフラッシュドライブに対して行う必要があります。セキュリティ上のリスクがあると特定されたユーザー、または他のコンピューターシステムに問題があった履歴があるユーザーは、地区のコンピューターへのアクセスを拒否される場合があります。

V. 荒らし

荒らし行為は、特権の取り消しや、学生ハンドブックと理事会ポリシーマニュアルに引用されているその他の制裁につながります。破壊行為とは、コンピューターのハードウェア、他のユーザーのデータ、インターネット、またはインターネットのバックボーンに接続されているその他のネットワークに危害を加えたり、変更したり、破壊したりする悪意のある試みと定義されます。これには、コンピューターウイルスのアップロードまたは作成が含まれますが、これらに限定されません。

VI. 不適切な使用

CUSD#5の教師と管理者は、何が不適切な使用であるかを判断し、その決定はCUSD#5教育委員会による確認のみの対象となります。CUSD#5の管理者、教職員、およびスタッフは、これらの許容される慣行に違反したユーザーのコンピューター使用の一時停止または終了を要求する場合があります。

コンピュータ使用の終了— コンピュータ使用の終了に対する異議申し立ては、指揮系統に従って行う必要があります。その順序は、担任、校、地区、そして最後に教育委員会から始まります。

教育工学に関する保護者への年次通知

イリノイ州全体の学区は、パーソナライズされた学習や革新的な教育技術の提供、学校運営の効率の向上など、有益な K-12 の目的で、さまざまな教育技術ベンダーと契約しています。

イリノイ州の学生オンライン個人保護法(SOPPA)(105ILCS85/)では、主にK-12の学校目的で設計、販売、使用されるインターネットWebサイト、オンラインサービス、オンラインアプリケーション、またはモバイルアプリケーションを運営する教育技術ベンダーおよびその他の事業者は、SOPPAではオペレーターと呼ばれます。SOPPAは、オペレーターが収集した生徒のデータを確実に保護することを目的としており、これらのベンダー、学区、イリノイ州教育委員会は、オンラインの生徒データを保護するために多くの措置を講じる必要があります。

使用されている特定の教育技術に応じて、学区はさまざまな種類の学生データを収集する必要がある場合があります。それらはオンラインサイト、サービス、およびまたはアプリケーションを通じて教育技術ベンダーと共有されます。SOPPAでは、教育技術ベンダーが生徒の情報を販売または貸与したり、生徒の情報を使用してターゲットを絞った広告を行ったりすることが禁止されています。このようなベンダーは、K-12の学校目的および法律で許可されているその他の限定された目的のためにのみ、学生データを開示することができます。

一般的に、収集および共有される可能性のある学生データの種類には、学生に関する個人を特定できる情報(PII)や、学生に関するPIIにリンクできる次のような情報が含まれます。

- 学生または親/保護者の名前、学生または親/保護者の連絡先情報、ユーザー名/パスワード、学生ID番号などの基本的な識別情報
 - 人口統計情報
 - 登録情報
 - 評価データ、成績、成績証明書
 - 出席とクラスのスケジュール
 - 学術/課外活動
 - 特別な指標(例:障害情報、英語学習者、無料/割引された食事、ホームレス/里親のステータス)
 - 行動/行動データ
 - 健康情報
 - 食品の購入
 - 交通情報
 - アプリケーション内パフォーマンスデータ
 - 学生が作成した作品
 - オンラインコミュニケーション
 - アプリケーションメタデータとアプリケーション使用統計
- 恒久的および一時的な学校の生徒記録情報オペレーターは、次のような学校活動の管理を支援する目的であるK-12の目的でのみ、生徒のデータを収集および使用できます。

- 教室または自宅での指導(リモート学習を含む)
- 管理活動
- 学生、学校関係者、および/または保護者/保護者間のコラボレーション
- 学区の使用と利益のためのその他の活動

G SUITE for Education(Google Schools)

CartervilleCUSD#5 は、テクノロジーとインターネットリソースが、学習を強化できるさまざまな教育機会とツールを提供することを認識しています。そのため、重要なツールである GSuiteforEducation の使用を開始しました。GSuiteforEducation では、教育者と生徒に多数のオンライン GoogleApps が提供され、生徒と教師は共同作業で授業を体験できます。GSuite の使用は担任の先生の裁量に委ねられ、生徒の学年レベルと学習目標に適した場合にのみ使用されます。

CartervilleCommunityUnit 学区の GSuiteforEducation ドメインは個人の Google アカウントとは異なり、一般には公開されていません。これは、私たちのドメインに固有の安全で安全な「自己完結型」のクラウドベースのシステムです。教師は、生徒が GSuite 内で行うすべての操作を監視できます。

他の教育活動と同様に、成功体験には家族との強力なパートナーシップが不可欠です。以下は、GSuite ツールとその教育用途の一覧です。

- * **Google Classroom:** GoogleClassroom では、教師と生徒がクラスごとに課題を共有したり、完了した宿題を提出したり、課題に関するフィードバックを共有したりできます。
- * **Gmail:** Gmail では、生徒と教師が GSuiteforEducation ドメイン内で通信できます。
- * **Google ドライブ:** Googleドライブとは、Google社が開発したファイルストレージサービスです。これにより、生徒はドライブに保存されているすべてのファイルにアクセスし、必要に応じて教師やクラスメイトとすぐに共有できます。
- * **Google ドキュメント:** Googleドキュメントを使用すると、インターネットにアクセスできる場所ならどこからでもドキュメント、スプレッドシート、プレゼンテーションを作成および編集できます。特定のドキュメントは個人またはグループで共有できるため、複数の人が同時に作業できるため、他の人と共同で作業する場合に非常に役立つ機能です。
- * **その他の Google ツールには、カレンダー、スプレッドシート、フォーム、スライド、Hangout Meets、Google ハングアウト、Vault、Keep、サイトなどがあります。**

生徒による GSuiteforEducation の使用には、責任ある使用と行動に関するポリシー(6:220)と CUSD#5 生徒/保護者向けハンドブックが適用されます。GSuiteforEducation を使用する際も、学校が提供するテクノロジーリソースを使用する場合と同様に、生徒は常にご自身の行動に責任を持つものとします。生徒は、生徒が作成して Google ドライブに保存した作品の知的財産権を留保します。GSuiteforEducation に広告は表示されません。Google は、法律で義務付けられている場合を除き、データを第三者に販売したり、GSuite の情報を第三者と共有したりすることはありません。

CUSD#5は、保護者がお子様のログイン情報を取得することを推奨しています。これにより、お子様の GSuite アカウント内のすべてのコンテンツを確認したり、提供される学習体験を共有したりできます。

プライバシーと安全性に関する追加情報については、Google の「信頼」サイトが、オンラインでの安全とセキュリティを維持するための優れたガイドを提供しています。このガイドは <https://www.google.com/edu/trust> からアクセスできます。

家族旅行やその他の親の言い訳による欠勤の補講

学年度中に家族の休暇、親の兵役休暇または配備、またはその他の親が言い訳した欠席に参加する学生は、欠席を事前に手配する必要があります。保護者学生は、希望する欠席の週間前に記入するための事前手配欠席フォームを取得するためにオフィスに連絡する必要があります。生徒と保護者は、欠席から戻ったときに教師から欠席した課題/テストを収集して完了する責任があります。欠席したすべての課題とテストを完了するために、欠席期間と同じ時間枠が与えられます。宿題は、保護者が担任の先生と取り決めをし、その時点で提供できる場合に限り、欠席前に提供することができます(事前に提供できる保証はありません)。これらの欠席は、事前に手配されていますが、学生の全体的な出席記録にカウントされます。

健康と医療

栄養とウェルネス

食堂:

すべてのCJHSの生徒は、学校給食に炭酸飲料やカフェイン飲料、特にエナジードリンク(レッドブル®、モンスター®、ロックスター®など)を持ち込むことを控えることを強くお勧めします。

健康診断/予防接種

学生は、認可された医療提供者による身体検査の証明が必要です。

イリノイ州小児健康診断証明書1年以内のフォーム:

1. 幼稚園または小学校1年生に入学する。
2. 年生と9年生に入学したとき。

3. 生徒の学年に関係なく、イリノイ州の学校に初めて入学する。

学生は、予防可能な伝染病に対する予防接種の証明と、イリノイ州公衆衛生局(IDPH)が要求するスクリーニングを提示する必要があります。物理的なフォームの**健康履歴セクション**に記入し、親または保護者が署名する必要があります。IDPHの予防接種要件について質問がある場合は、学校の看護師にお問い合わせください。

学期の途中で登録した新生は、登録後**30日以内**に健康診断と予防接種の要件を遵守する必要があります。

免除

親/保護者は、記入済みのイリノイ州の必要な予防接種および/または試験への宗教的免除証明書を学校に提出することにより、これらの要件に対する宗教的免除を請求できます。このフォームは、親と医療提供者が記入し、署名する必要があります。

親/保護者は、医師、**APN**、または**PA**が医学的異議の具体的な理由を記載した手紙を書いて署名し、イリノイ州公衆衛生局によって承認された場合、これらの要件の医学的免除を請求できます。

視力検査

公立学校に初めて入学する生徒、または州外から入学する生徒は、現在の学年度の**10月15日**までに、前年度に認可された検眼医または眼科医が実施した眼科検査の証明を提示する必要があります。保険に加入してくれる眼科医が見つからない場合や、過度の負担がかかる場合は、養護教諭から免除書を入手できます。

視力と聴覚のスクリーニング

イリノイ州児童視力および聴力検査法(410ILCS205)は、就学前および学齢期の子供に視力および聴力スクリーニングプログラムを義務付けています。スクリーニングは特定の年齢と学年レベルで義務付けられており、イリノイ州公衆衛生局によって訓練および認定された人が実施する必要があります。視力検査は、眼科医による完全な眼と視力の評価に代わるものではありません。学校の身体検査の一環として医師のオフィスが実施する視力検査は、義務を果たしていません。過去**12か月**以内に検眼医によって行われた眼科検査の文書が学生のファイルにある場合、学生はスクリーニングを受ける必要はありません。生徒の親または法定後見人は、宗教上の理由で子供の聴力検査または視力検査に異議を唱えることができます。宗教上の異議申し立てが行われた場合は、そのような異議を詳述した親/法定後見人からの書面および署名入りの声明を学区に提示する必要があります。視力・聴力検査についてご不明な点がございましたら、養護教諭にお問い合わせください。

学生薬

授業時間中または学校関連の活動中に薬を投与することは、生徒の健康と幸福に必要でない限りお勧めしません。生徒の認可された医療提供者と親/保護者が、生徒が授業時間中に薬を服用する必要があると考える場合、親/保護者は、学校を修了して子供に薬を調剤することを学校に要求する必要があります。

投薬承認書。学校で与える薬は、適切にラベルを貼り、元の容器に入れる必要があります。すべての薬は学校に持ち込み、大人が学校から受け取る必要があります。学生は薬を所持したり輸送したりすることはできません。

学校または地区の従業員は、生徒の親/保護者が記入して署名した学校投薬承認フォームが提出されるまで、生徒に薬を投与したり、生徒の自己投与を監督したりしてはなりません。

学生は、このポリシーとその実施手順に規定されている場合を除き、

学校の敷地内または学校関連の機能で処方薬または非処方薬を所持または消費することは許可されていません。

看護師が薬を投与するために立ち会わないため、フィールドトリップ中に緊急性のない薬は投与されません。ご不明な点がございましたら、養護教諭にお問い合わせください。

投薬の自己投与

生徒は、生徒の親/保護者および医療提供者が学校投薬承認を完了して署名した場合、処方された緊急薬(エピネフリン、喘息吸入器など)を所持して自己投与することができます。フォームであり、学生が薬を自己携帯および/または自己投与することが適切であるとマークされています。学区は、喘息薬やエピネフリン注射器などの薬の生徒の自己投与、または適格な計画の下で必要な薬の自己投与に起因する怪我の結果として、故意かつ無謀な行為を除き、責任を負わないものとします。生徒の親/保護者は、エピネフリン注射器、喘息薬、および/または適格な計画の下で必要な薬の生徒の自己投与から生じる、故意かつ無謀な行為に基づく請求を除き、学区とその従業員および代理人を補償し、無害に保つ必要があります。

指定されていない医薬品

学校は、緊急使用のために次の指定されていない処方薬を維持する場合があります:(1)喘息薬。(2)エピネフリン注射器;(3)オピオイド拮抗薬;(4)グルカゴン。生徒の親/保護者を含むがこれらに限定されない誰も、指定されていない薬の入手可能性について学校または地区に頼るべきではありません。この手順は、指定されていない薬の入手可能性を保証するものではありません。学生とその親/保護者は、これらの薬について自分の医師に相談する必要があります。

学生への緊急支援

このポリシーのいかなる規定も、学校職員が投薬を含む緊急支援を生徒に提供することを禁止するものではありません。

喘息

喘息の学生は、いつでも吸入器にすばやくアクセスできる必要があります。保護者や医療従事者が適切であると知っている生徒には、喘息吸入器を自己携帯および/または自己投与することをお勧めします。

喘息症状の治療のために薬を必要とするすべての学生は、毎年次の項目を完了する必要があります。

- **投薬承認フォーム**に記入し、親と医療提供者の両方が署名しました。(フォームの下部で、医療提供者は次のオプションを選択する必要があります:自己投与、自己携帯、または吸入器を保健室に保管します。
- **喘息行動計画**
- 薬の名前、処方された投与量、および薬が投与される状況を含む処方ラベル。
- 吸入器に生徒の名前を黒い油性ペンで記入して、万が一、携帯型吸入器を紛失したり置き忘れたりした場合に、生徒さんに返却できるようにしてください。

呼吸窮迫に対する未割り当ての喘息薬の方針と手順

カータービルユニット5学区は、割り当てられていない緊急喘息投薬プログラムに自発的に参加していません。訓練を受けた個人が、生徒が呼吸困難に陥っており、迅速な緩和喘息薬にアクセスできないと判断した場合、アルブテロールまたは他の短時間作用型気管支拡張薬吸入器が投与されます。これは、喘息がわかっている生徒が保健室で服用したり、自分で携帯したりする喘息薬に代わるものではありません。生徒にこの救命措置を受けさせたくない場合は、異議を述べる手紙を行政に提出する必要があります。

呼吸困難とは、喘鳴、咳、息切れ、胸の圧迫感、呼吸困難、または喘息と一致するその他の症状の知覚または実際の存在を意味します。

クイックリリーフ喘息薬には、呼吸困難の治療のために米国食品医薬品局によって承認されているアルブテロールまたは他の短時間作用型気管支拡張薬が含まれます。これには、再利用可能または使い捨てのスペーサーを備えた定量吸入器など、デバイスを介して送達される薬が含まれます。

学生または教職員の呼吸困難が発生した場合、訓練を受けた個人は、次の手順に従って、処方または未割り当てのアルブテロールまたはその他の短時間作用型気管支拡張薬吸入器を投与できます。

1. **個人の評価:**喘鳴、咳、息切れ、胸の圧迫感、呼吸困難、または呼吸困難または喘息と一致するその他の症状が存在する場合は、割り当てられていないアルブテロールまたはその他の短時間作用型気管支拡張薬を投与します。
2. **割り当てられていないアルブテロールまたは他の短時間作用型気管支拡張薬を投与します:**吸入器を振ってください。吸入器に取り付けられた再利用可能または使い捨てのスペーサーを使用して、個人に1パフの薬を投与します。スペーサーを使用するときは、薬を深く吸い込んでもらいます。1~2分待ってから、薬の2回目のパフを投与します。
3. **個人を注意深く監視する:**呼吸窮迫の症状が持続または悪化する場合は、911に電話してください。
4. **通知と文書化:**すぐに親/保護者に通知します。未指定の喘息薬を処方した医療提供者に、代替の未指定の喘息薬を投与してから24時間以内にその使用を通知します。必要に応じて、インシデントの詳細を直ちに未指定喘息投薬報告書に記録します。

アレルギー

私たちは「ナッツフリー」の学校ではありませんが、食物アレルギーのある生徒のための宿泊施設を作っています。これらの宿泊施設には、指定された「ナッツフリー」のランチテーブルが含まれています。生徒は、ナッツ製品を含む食べ物やスナックを教室に持ち込むことはできません。これには、ピーナッツ/木の実と同じ設備または同じ施設で製造されたアイテムも含まれます。

保護者は養護教諭にアレルギーを報告してください。これには、環境、食品、および/または反応を引き起こす可能性のあるその他のアレルギーが含まれます。

代替食品(牛乳、イチゴなど)を必要とする食物アレルギーのある生徒の場合、**食品代替に関する医師の声明書**を学校の看護師またはフードサービスから入手し、医療提供者が記入して学校に返送する必要があります。

エピネフリン

生命を脅かすアレルギーのある学生は、いつでもエピネフリンにすばやくアクセスできる必要があります。私たちは、両親や医療従事者が適切であると感じている学生に、エピネフリンを自己保有および/または自己投与することをお勧めします。

生命を脅かすアレルギーの治療のために投薬を必要とするすべての学生は、各学年で次の項目を完了する必要があります。

- **投薬承認フォーム**に記入し、両親と医療関係者の両方が署名しました。(フォームの下部で、医療提供者は次のオプションを選択する必要があります:自己投与、自己携帯、または保健室に保管する薬。各薬(例:エピネフリン、ベネドリル®など)のフォームに記入してください。
- **アナフィラキシー緊急治療計画**
- 薬の名前、処方された投与量、および薬が投与される状況を含む処方ラベル。
- エピネフリンに生徒の名前を黒い油性ペンで書いて、万が一、自分で携帯した薬を紛失したり置き忘れてきた場合に、生徒に返却できるようにしてください。

アナフィラキシーに対する未割り当てのエピネフリンの方針と手順

カータービルユニット5学区は、アナフィラキシーのための割り当てられていない緊急エピネフリンプログラムに自発的に参加しています。訓練を受けた人があなたの子供が重度のアレルギー反応を起こしていると判断した場合、緊急エピネフリンが投与され、救急車が呼ばれます。これは、既知のアレルギーを持つ子供が学校に提出するエピネフリンを置き換えるものではありません。お子さんにこの救命措置を受けさせたくない場合は、異議を述べる手紙を行政に提出する必要があります。

アナフィラキシーは重度のアレルギー反応であり、生命を脅かす可能性があります。アレルゲンに曝露してから数分以内、または数時間後に発生する可能性があります。症状には、かゆみ、発赤、じんましん、唇、顔、喉の腫れ、喘鳴、咳、胸の圧迫感、息切れ、ショック、腹部のけいれん、吐き気/嘔吐、意識喪失などがあります。

学生または教職員の重度のアレルギー反応が発生した場合、訓練を受けたスタッフは、次の手順に従って、処方または未割り当てのエピネフリンを投与することができます。

1. **個人の評価:**かゆみや腫れが局所的な領域に限定されている場合は、全身症状の発症について個人を注意深く観察します。症状(かゆみ、発赤、じんましん、唇、顔、喉の腫れ、喘鳴、咳、胸の圧迫感、息切れ、ショック、腹部のけいれん、吐き気/嘔吐、または意識喪失)が一般化され、2つ以上の身体系が含まれる場合は、911に電話し、ステップ2に従ってエピネフリンを投与します。
2. **割り当てられていないエピネフリン**を大腿部の外側中央部に投与します(必要に応じて衣服を通して)。2人目の人が911に電話したことを確認し、注射の時間をメモします。エピペンJr.®を使う66ポンド未満の個人向け。66ポンドを超える個人にはエピペン®を使用してください。EMSが到着せず、症状が続く場合は、最初の投与後5~20分ごとに投与を繰り返すことができます。
3. **が到着するまで、個人を注意深く監視します。**心肺蘇生法を行い、必要に応じて気道を確保します。個人を快適な休息姿勢に置きます。食べ物や水を与えない
4. **通知と文書化:**親/保護者に通知し、4時間以内に個人の主治医にアナフィラキシー反応を通知します。必要に応じて、インシデントの詳細を直ちに文書化します。

オピオイドの過剰摂取に対する未割り当てのナロキソン(ナルカン®)の方針と手順

オピオイドの過剰摂取は、死に至る可能性のある生命を脅かす状態です。オピオイドの過剰摂取の症状には、呼吸抑制、無反応、心拍数の低下、唇/指先の青さ、および/またはピンポイントの??孔などがあります。

学区のプロトコルと手順に従って、オピオイドの過剰摂取に苦しんでいる可能性のある人に支援を提供することがカータービルCUSD#5のポリシーです。ポリシーに従って訓練されたスタッフは、明らかな薬物の過剰摂取の犠牲者を蘇生させるために、レスキュー呼吸/CPRと組み合わせたナロキソン点鼻薬の使用を含むあらゆる合理的な努力をするものとします。ナロキソン(ナルカン®)は、オピオイド薬によって引き起こされる過剰摂取を逆転させるために使用できる薬です。

オピオイドの過剰摂取の場合、訓練を受けたスタッフは、次の手順に従ってナロキソン(ナルカン®)点鼻薬を投与できます。

1. **認識:**過剰摂取の兆候について個人を評価します:青白く、ぬるぬるした肌。まれなスピーチ;呼吸抑制;刺激に反応しない(名前を呼ぶ、震える、胸骨をこする)。心拍数が遅くなる。青い唇や指先。および/またはピンポイントの瞳孔。
2. **応答:** 911/EMSに電話します。個人を仰向けに寝かせます。気道と呼吸を評価します。必要に応じて、レスキュー呼吸/CPRを実行します。
3. **リバース:**個人の頭を後ろに傾け、1つの鼻孔にナロキソンのスプレーを1回投与します。個人を横向きに配置します。EMSが到着するまで、その人と一緒にいてください。個人の気道、呼吸、循環を引き続き監視します。必要に応じて、レスキュー呼吸/CPRを続けます。
4. **紹介:**最寄りの医療機関に搬送してもらいます。親/保護者に通知します。インシデントの詳細を文書化し、必要に応じてすぐにナロキソン投与レポートフォームに記入します。

急病

イリノイ州公衆衛生局のガイドラインによると、発熱、嘔吐、下痢、または伝染病のある生徒は、症状が24時間なくなるまで学校を休む必要があります。生徒は、学校に戻る前に、薬を使用せずに24時間発熱していない必要があります。**私たちの地区では、発熱を100°F以上の温度として認識しています。**医師は、安全であることを示す書面による声明を提出した場合、学生はより早く戻ることができます。これらのガイドラインは、学生の健康を守り、病気の蔓延を制御するために必要です。

発疹のような病気が多いため、生徒を学校から除外することは看護師の裁量に委ねられます。詳細については、イリノイ州公衆衛生局または学校の看護師が配布する伝染病ガイドを参照してください。

事故

重大な事故や怪我が発生した場合は、学校関係者が保護者に通知します。保護者が家にいない場合、学校の職員は生徒の緊急連絡先に記載されている代替電話番号に電話をかけます。保護者は、学校の日中に連絡できる親戚や友人の電話番号を必ず含める必要があります。学校の敷地内で発生したすべての事故は、教師、運動場の監督者、養護教諭、校 などの担当者に直ちに報告することが不可欠です。

体育・スポーツ制限

生徒が体育やスポーツへの参加を制限されている場合は、医療提供者からのメモが必要です。メモには、アクティビティから除外される制限と時間の さを指定する必要があります。

ホームバウンド/病院の指示

学校を欠席している学生、または医師、医師助手、または認可された高度な実践登録看護師が病状のために学校を欠席する予定がある場合は、学生の自宅または病院で指導を受ける資格がある場合があります。

資格のあるスタッフによる適切な教育サービスは、医師、PA、または認可されたAPNから書面による声明を受け取ってから5日以内に開始されます。特殊教育サービスを受ける学生への指導または関連サービスは、学生の個別教育プログラムによって決定されます。

在宅/病院指導プログラムは、カータービルCUSD#5およびウィリアムソン郡特殊教育地区によって確立されたポリシーと手順に従って運営されるものとします。保護者は、これらのサービスを受けるための適切な許可を得るために、建物の校 に連絡する必要があります。

アタマジラミ

生徒は、学校の看護師または被指名人による定期的な健康シラミチェックに含まれる場合があります。髪の毛に生きたシラミが見つかった場合は、すぐに保護者に連絡し、子供を学校から連れ出します。子供たちは、自宅で治療を受け、学校の看護師または被指名人によって許可された後、学校に戻ることが許可されます。髪の毛にニットが残ったまま学校に戻りたい学生は、看護師の裁量に委ねられます。次の手順に従う必要があります。

1. 学校に電話して、看護師との予約をスケジュールします。
2. 大人は、CJHSの保健室(または指示された場合は他の学校の事務所の場所)に生徒に同行する必要があります。
3. 生徒は、学校の看護師または被指名人によってチェックされ、学校に戻ることを許可されるまで、バスで学校に送ることはできません。
4. 学生は、アタマジラミと特定された後、最大2日連続で免除された欠席が許可されます。3日目以降は、言い訳なしとして記録されます。**保護者は、欠席を報告するために毎日学校のオフィスに通知するものとします。**
5. 学生が学期に2回以上発生した場合、学校から帰宅した日にのみ免除として記録されます。それ以上の欠席は、言い訳なしとして記録されます。
6. 不登校相談所には、3回目の無断欠勤日後に連絡があります。

自殺とうつ病の認識と予防

若者の自殺は、学校環境の安全性に影響を与えます。また、学校コミュニティにも影響を及ぼし、生き残った生徒の学習能力と学校の教育能力を低下させます。自殺とうつ病の認識と予防は、学区の重要な目標です。

学区は、自殺とうつ病の認識と予防に関する生徒と保護者のリソースを維持しています。学区の方針のコピーを含むこの情報の多くは、学区のWebサイトに掲載されています。学校事務所からも情報を得ることができます。

校庭の来場者

訪問者は、建物の校 または監督者からの承認がある限り、カータービルユニット#5学校で歓迎されます。ユニット#5では、訪問者が訪問する前にオフィスまたは教室の教師に通知するように求めています。校 または教育の事前承認が得られている場合は、訪問者は建物の正面玄関に入り、訪問のたびに学校のオフィスに報告し、サインインする必要があります。その後、識別タグは学校の秘書または校 から入手する必要があります。

保護者または大人の訪問者は、教室で観察するための予約が必要です。保護者がプログラムや子供の進捗状況について通知を受けたい場合、保護者は、より関与/情報を得るために次の活動のいずれかを選択できます。保護者と教師の面談をリクエストする。オープンハウスに参加します。

カータービルユニット#5の学校では、建物の校 から特別な許可がない限り、学生の訪問者は許可されていませんが、これはまれです。

ホームレスの子供たち

ホームレスの子供は、子供または子供の親/保護者が登録に通常必要な記録を提出できない場合でも、すぐに入院できるものとします。理事会の方針6:140、ホームレスの子供たちの教育、およびその実施管理手続きは、ホームレスの子供たちの登録を管理します。

バス輸送

スクールバス輸送サービスは、学校から遠すぎて歩いて行けない学区の学童に提供されるサービスです。これは、教育機会の均等化を支援するために提供されています。

州法では、学校から1.5マイル以上離れた場所に住んでいる生徒には、交通手段を提供しなければならないと規定されています。バス路線は、バス輸送の資格を持つ学生に輸送サービスを提供するために、各学年の初めに確立されます。

バスのルートは公道に沿っており、いかなる場合も、バスの「ターンアラウンド」として使用される車線または私道以外の車線または私道を走行する必要はありません。バスは安全でない道路を走行しません。

運転者の責任

1. バスに乗車する生徒の安全と福祉を確保するため
2. イリノイ州の自動車法および教育委員会が定めた規制を遵守すること
3. バスが清潔で衛生的に保たれていることを確認する
4. 適切なタイムスケジュールを維持する
5. スクールバスでの不正行為を学校当局に報告すること
6. バスの運転手は、学生をバスの座席に割り当てる権限を持っています。
7. 学校関係者と正規の生徒以外はバスに乗らないこと

課外活動と課外活動

時折、学生はスポーツイベントやクラスの遠足など、さまざまな形態の特別なイベントに運ばれることがあります。このような旅行では、学生は礼儀正しく行動することが期待されています。権限のある人は、旅行の引率者/コーチとバスの運転手です。行動規則は、ほとんどの場合、通常の交通機関とほとんど同じです。

そのような旅行をするバスは、担当者の許可がない限り、乗ろうとしないでください。交通局は、承認が下りた場合にバスの運転手に通知し、乗車を希望する他の人を承認しなければなりません。

募金

ユニット#5内で実施される学校組織の学生資金ドライブは、宣伝が学生に配布される前に、適切な建物の校から書面による許可を受ける必要があります。各学校組織は、教育が特別な許可を与えない限り、年に2回の募金活動に制限されています。これには、PTOと協力して実施されるファンドドライブが含まれます。

学生のための保険

学生の事故補償は、学校の時間の補償のために保護者に無料で学生に提供されます。それは彼らが学校の活動に参加するときに発生する偶発的な怪我から子供を保護します。唯一の例外はサッカーです。スクールタイムの補償範囲には、通常のアカデミックスクールセッションに参加するための住居への直接の移動時間、通常のクラスの最大1時間前と1時間後の時間が含まれます。これは超過プランであり、他の保険がある場合、私たちの補償範囲が応答する前に、主たる保険会社が最初にその給付を裁定する必要があります。

資料の配布

カータービルコミュニティユニット学区#5のプログラムに直接含まれていない資料の配布は、生徒、教師、またはスタッフに配布される前に、建物の校によって承認されるものとします。これには、パンフレット、お知らせ、スケジュール、アンケート、登録フォーム、または学区が直接作成していないその他の資料が含まれます。

学校所有物の手入れ

生徒が故意かつ故意に教科書を含む学校の所有物を壊したり損傷したりした場合、親または法定後見人は発生した債務の責任を負います。判断力の乏しさや衝動的な行動の結果として、子供が誤って教科書を含む学校の所有物に損害を与えた場合、親または法定後見人が発生した債務の責任を問われる可能性があります。

遺失物

遺失物は各校の所定の場所に保管します。学生は、身分証明書と所有権の証明後にこれらのアイテムを請求することができます。

朝食/ランチプログラム

教育研究は、生徒が朝食と昼食を食べると、生徒の注意力が持続し、学校でより多くのことを学ぶことができることを裏付けています。そのため、生徒は学校で朝食と昼食を食べることが奨励されています。

朝食は毎朝07:30から08:00までお召しあがり頂けます。遅れたバスの乗客は、学校に到着したときに提供されません。学校で朝食を食べる生徒は、配膳列に行く前にカフェテリアに直接行き、名前をチェックしてもらう必要があります。無料の朝食と昼食の申請書は、オフィスから入手できます。資格のある方には書面で通知します。学生は、昼食やおやつに追加の牛乳を購入することができます。追加の牛乳の費用は、容器あたり20ドルです。メニューには、毎日の朝食/ランチメニューのほか、特別なお知らせや学校情報が含まれています。生徒と保護者は、どのような食事計画を立てるべきかを一緒に決定することをお勧めします。この活動は、子供たちの良い意思決定の習慣を発達させます。

食事の種類	朝食料金	ランチ料金
学生	1.85ドル	2.60ドル
学生の削減	0.40ドル	0.50ドル
大人	2.60ドル	3.60ドル

外部業者に注文して学校やカフェテリアに配達することはできません。お断りさせていただきます。保護者が外部から昼食を降ろしたい場合は、保護者と生徒の手配が必要です。学校は生徒を呼び出したり、昼食を生徒に持って行かせたりすることはありません。これを事前に手配するのは保護者と生徒の責任です。

学校での食べ物/飲み物

透明で密閉された容器に入った水を除いて、学生はいつでもコモンズエリア以外の建物のどのエリアでも食べ物や飲み物を飲むことはできません。医療上の理由で授業時間中にこれらのアイテムを携帯する必要がある学生は、オフィスに医師のメモを保管する必要があります。ロッカーには、自宅から持参したお弁当以外の飲食物は持ち込まないでください。家庭弁当は、お弁当箱や袋に入れて、毎日持ち帰るようにしましょう。図書館や研究室(科学、数学、コンピューターなど)での飲食は禁止されています。さらに、教師は教室での水を禁止する権利を留保します。

ガムとキャンディー

生徒は学校やバスの中でガムを噛んだり、キャンディーを食べたりすることはできません。

フードデリバリー

学生は、管理者の許可なしにフードデリバリー(ドアダッシュ、ピザデリバリーなど)を注文することはできません。

図書料金

学生は、ワークブック/教科書の使用料を査定されます。現在の学年度の料金は\$45.00です。学区内の学生またはホームレスに分類される学生の保護者で、料金の免除の対象となる可能性があると思われる場合は、学校のオフィスから「料金の免除」というタイトルの申請書を入手できます。

学費免除

学校は、特定の学校活動に資金を提供するための料金と料金を確立します。一部の学生はこれらの料金を支払うことができない場合があります。学生は、親または保護者が料金または特定の料金を支払うことができないために、教育サービスまたは学業単位を拒否されることはありません。

親または保護者が学費を支払う余裕がない学生は、学費免除を受けることができます。料金免除は、紛失または破損した本、ロック、材料、備品、および/または機器の料金を免除するものではありません。授業料免除の申請は、授業料を査定された学生の親または保護者が提出することができます。学生が現在、連邦政府の無料食事プログラムに使用される世帯規模に基づくのと同じ制限で、収入ガイドラインを満たす世帯に住んでいる場合、学生は料金免除の対象となります。申請書は学校のオフィスで受け取ることができます。

電話利用

学生がオフィスの電話を使用する許可は、オフィスの秘書、教室の教師、または校 から取得する必要があります。緊急時以外は、オフィスの電話での 距離通話は許可されません。緊急でない場合は、自宅の番号に請求する必要があります。電話は、放課前または放課後に処理できない事項に限定する必要があります。個人的な電話やプライベートなビジネス電話は、緊急時に限定する必要があります。保護者は、本当に必要な場合を除いて、学校に電話しないでください。緊急時以外は、クラスから電話を受けるために生徒が呼ばれることはありません。メッセージには事務員が伝えます。

プランナー

学生は手帳を常に携帯する必要があります。プランナーには、生徒や保護者が学校内や学校周辺の日常生活に役立つ役立つ情報が含まれています。プランナーには、学生が廊下にいるとき、ロッカーに行くとき、看護師に行くときなど、いつでも完了する必要があるパスが含まれています。手帳は、学生の課題ノートとしても使用されます。7年生から8年生のすべての生徒は、毎日プランナーの課題ノートを完成させることを強くお勧めします。プランナーは、親/保護者が毎晩チェックする必要があります。このツールを使用することで、家庭とのコミュニケーションとコラボレーションが増加し、お子様の学業の成功に役立つことを願っています。

プランナーを紛失した学生は、別のプランナーを5.00ドルで購入する必要があります。

学生スポーツパス

学生はアスレチックパスを購入できます。このパスは、IHSAまたはSIJHSAA州のトーナメント/プレーオフシリーズを除く、すべてのレギュラーシーズンのCJHSおよびCHSアスレチックホームイベントに1回参加できます。費用は30ドルで、オフィスで年間を通じていつでも購入できます。

差別の禁止

カータービルユニット#5のポリシーは、教育プログラム、活動、または雇用慣行において、人種、性別、宗教、性的指向、またはハンディキャップに基づいて差別しないことです。

児童虐待・ネグレクト

イリノイ州では、児童虐待やネグレクトが疑われる場合、学校職員は直ちに児童家庭サービス局に報告する(または報告する)ことが義務付けられています。

国旗掲揚式/黙祷

生徒は、忠誠の誓いを暗唱し、毎日アメリカ国旗に敬礼する機会が与えられます。忠誠の誓いを暗唱しないことを選択した学生、または旗に敬礼しないことを選択した学生は、そうすることができます。ただし、式典への参加を希望するクラスメートの権利は尊重する必要があります。また、ILスクールコードに従って黙祷を捧げます。

気象条件やその他の緊急事態を脅かすもの

悪天候や学校のスケジュールに影響を与えるその他の緊急事態が発生した場合は、地元のラジオ局やテレビ局に連絡します。テレビ局には、WSIL-TV、KFVS-TV、およびWPSD-TVが含まれます。ラジオ局には、WCIL、WJPF、およびW3Dが含まれます。授業開始後に悪天候に見舞われ、授業を早めに解散することが決定された場合は、地元のラジオ局やテレビ局でもアナウンスされます。

Skylertは、私たちの地区の生徒/保護者通知システムです。緊急時および/または非緊急時の情報は、指定された連絡先電話番号を通じて届きます。メッセージを確実に受信するために、Skywardシステムの連絡先情報を最新の状態に保つことが不可欠です。これは、悪天候、キャンパス内の緊急事態、またはその他の緊急性のないメッセージによる学校の閉鎖を保護者に通知するために利用できます。

学生記録

カータービルユニット#5には、生徒の記録とそれらの記録への保護者のアクセスに関するポリシーがファイルされています。お子様の記録を閲覧したい場合は、校 にお問い合わせください。ディレクトリ情報(名前、住所、電話番号、および運動資格の統計)は、理事会の方針と管理手順で指定されている適切な情報源に提供されます。学区の職員は、生徒の記録に含まれる情報を、生徒の記録に関連する理事会の方針と管理手続きで指定されている適切な当局に公開する場合があります。それ以外の場合、学生の記録に含まれる情報は、書面による保護者または適格な学生の許可なしに、第三者または組織に送信されることはありません。書面による保護者または適格な学生の記録要求の場合、地区は法律で許可されているようにそのような文書を提供するために10営業日があります。

スカイワード・ファミリー・アクセス

Skywardは、私たちの地区のオンライン学生情報システムです。Skywardは、www.cartervilleions.org 時から、または「ファミリーアクセス」をクリックしてアクセスできます。

初めてのユーザーは、ログインパスワード情報についてCJHSスクールオフィスに連絡する必要がある場合があります。電話や電子メールの情報を常に最新かつ正確に保つことが重要です。電子メールと電話の情報を更新するには、画面の左側にある [一般情報] の下にある [Skylert] リンクをクリックし、[編集] をクリックします。

「一般情報」では、以下にアクセスできます。

- メール通知(出欠/フードサービス/成績の通知設定の更新)
- フードサービス(カフェテリアの残高を確認し、オンラインで支払いを行う)
- テキストメッセージをオプトインすることもできます。この情報が必要な場合は、オフィスに連絡してください。お子様がバスの乗客の場合は、ページ上部中央の[バス時刻表]タブの[学生情報]でバス情報を確認できます。(バス情報の

変更または更新は、交通局 のマイケル・ブラッドフォード(618-985-5727)に直接お問い合わせください。

録画

カータービルユニット#5には、地区の敷地全体とスクールバスにカメラが設置されています。ビデオテープはセキュリティ目的で利用されます。学校の生徒やゲストのプライバシーを侵害することを意図したものではありません。

キャンパス内の立ち入り禁止区域

1. 教職員用トイレ、作業室、ラウンジへの立ち入りは禁止です。体育置き場やクローゼットなども、先生の許可がない限り立ち入り禁止です。
2. 授業時間中は、教職員の駐車場に立ち入ることはできません。これは、車やその周辺地域を意味します。
3. バンドルームとアートルームは、インストラクターがいない限り立ち入り禁止です。
4. 許可なく備品室やクローゼットに立ち入ることはお断りします。
5. 学生はしないでくださいamp電気パネルボックスまたはその他の電力線や機器。
6. 図書館の視聴覚セクションには、図書館のアシスタントのみが入場できます。
7. 生徒は、教室の教師からのパスなしで、教室のセッション中に廊下やトイレに入ることは許可されておらず、絶対に必要な場合にのみ許可されています。

行動と規律

今日、保護者、生徒、学校スタッフの間では、穏やかで生産的な学校環境を作る必要性に対する懸念が高まっています。ここカータービル中学校では、安全な環境、ニーズに関連する基本的なスキルを習得する機会、および社会的スキルを獲得する機会を提供することが不可欠であると感じています。皆さん一人一人が礼儀と敬意を示し、責任者の指示に従うことが期待されています(教室内、外など)。

すべての生徒は、他人を思いやる努力をすべきです。騒々しい音を立てる。ドアがバタンと閉まる。ホールを走る。机、壁、床、ロッカーのマーキング。交通を遮断するグループでホールに集まる。カフェテリアの列を押し込んだり、割り込んだりする。そして、他の人が話しているときに話すことは、すべて善良な学校市 が避けるべき行動の例です。軽率な行動で怪我をしてしまうかもしれません -- 自分に責任があることを示すために努力してください!

すべてのスタッフは、ミス、ミセス、ミセス、またはミスターとして呼ばれ、いかなる場合も姓名だけでは呼ばれません。学校の所有物には注意を払い、決して傷つけたり傷つけたりしないことが期待されています。学校の財産を汚損した生徒は、その修理または交換について個人的に責任を負います。

授業の合間にクラスメートと会話することができます。ただし、クラスを変更するときに大声で話す必要はありません。適切な方法でクラスを変更することが不可欠です。安全上の明らかな理由により、ランニングは許可されていません。廊下でぶつかったり、密集したり、腕をロックしたりすることは許可されていません。何らかの方法で授業を妨害したり、重大な混乱や他者の権利の侵害を伴う生徒の行動は、その生徒の停学または退学の根拠となります。軽微な違反または初犯の場合、次の懲戒処分が採用される場合があります:口頭での懲戒、昼食の居残り、および/または放課後の居残り。

学校の安全をさらに促進するために、すべてのバックパック、コート、財布は、建物に入るときにロッカーに保管する必要があります。

名誉コード

次のガイドラインは、カータービル中学校の管理者、教職員、およびスタッフが生徒に対して持っている行動の期待/名誉コードを網羅しています。

1. 私たちは、すべての学生が立派な学生であることを期待しています。したがって、嘘をついたり、騙したり、盗んだりすることは、いかなる種類のものでも許されません。
2. 生徒は、教師、スタッフ、仲間の学生、および訪問者に敬意を示します。身体的および言葉による虐待は許可されません。
3. 生徒は、自分自身、他人の財産、学校の財産を尊重します。
4. 生徒は、自分自身と他人の安全に関して責任を持って行動します。
5. 学生は、すべてのCJHS学生の文化と習慣を尊重します。
6. 私たちは、生徒が違法な物質や身体に有害な物質を所持、消費、または使用しないことを期待しています。具体的には、違法薬物、乱用された場合の処方薬、吸入剤、アルコール、タバコなどが含まれます。

定義と例

チート行為には以下が含まれますが、これらに限定されません。

- 他の生徒よりも学業において、許可されていない、不公平、不誠実、または欺瞞的な利点を故意に与えたり受け取ったりすること。
- 不正行為の試み、または自分以外の仕事のクレジットを取得することを目的としたその他の行為。
- いくつかの例は欺瞞です。クイズ中の会話、サイン、またはジェスチャーの使用。他の学生からコピーしたり、個々の課題のコピーを許可したりすること。授業期間中、またはある授業期間から、同じ教師がいる別の授業期間のメンバーにテストまたは小テストの情報を渡す。事前に書かれたライティング課題がクラスで書かれることになっているときに、そのような課題を提出する。時間制限のあるテスト、小テスト、または課題の制限時間を違法に超えること。学習支援、メモ、書籍、データ、またはその他の情報の不正使用。コンピューター詐欺他の生徒の作品を所有している。他の学生のプロジェクトや実験を妨害する。

剽窃には以下が含まれますが、これらに限定されません。

- 他人の作品や意見を、適切な謝辞なしに自分のものとして提示すること。
- 適切な認識なしに、アイデアの順序、資料の配置、または他人の思考パターンを借用すること。
- いくつかの例は、親や他の人がエッセイを書いたり、自分の作品として提出されたプロジェクトを行ったり、適切なドキュメントや参考文献を使用しなかったりすることです。

LIINGには以下が含まれますが、これらに限定されません。

- 口頭または書面による陳述で、虚偽または虚偽、およびあらゆる形態の欺瞞、欺瞞の試み、または詐欺を故意かつ知識を持って伝えること。
- いくつかの例は、嘘をついたり、教師に完全な情報を与えなかったり、テスト、小テスト、または課題の準備時間を増やすために病気を装ったりすることです。

STEALINGには以下が含まれますが、これらに限定されません。

- 権利や許可なしに、他の生徒の学校の仕事や教材、または教師の教材を不当に保持または利用する意図を持って、取得または流用すること。
- いくつかの例は、テストやクイズのコピーを盗むことです。テストや小テストのために教師の解答

集に不正にアクセスすること。教科書の教師版を盗む。他の生徒の宿題、メモ、配布資料を盗む。

結果と懲戒処分

拘留から停学までの範囲の段階的な懲戒処分は、上記の行動の期待に従わない学生に対して行うことができます。生徒はまた、学校内の名誉または誠実さの地位から排除される場合があります。

スクールスピリット

スクールスピリットは、次の3つのカテゴリーに分けることができます。

1. 礼儀-教師、仲間の生徒、学校の運動活動の関係者に対して
2. 誇り-私たちの学校が達成しようと努力し、達成したすべてのこと
3. スポーツマンシップ優雅に勝ったり負けたりする能力。スクールスピリットとは、学校のすべての機能への忠誠心を意味します。忠実な生徒は、自分の学校をサポートし、学業と活動の基準を可能な限り高いレベルに保つために最善を尽くします。

学生の行動

1996年1月1日発効の公法89-731は、次のように述べています。理事会は、合衆国法典第18編第921条に定義される武器を学校に持参したと判断された2学年を超えない期間、一定期間、生徒を退学させることができる。ただし、除名期間は、ケースバイケースで理事会によって変更される場合があります。退学または停学は、連邦障害者教育法と一致する方法で解釈されるものとします。このサブセクション(d)の規定は、特別チャーター地区および第34条に基づいて組織された地区を含むすべての学区に適用されます。

合衆国法典第18編第921条によると、武器とは次のことを意味します。

- 爆発物の作用によって発射体を排出するように設計されている、または容易に変換できる武器(スターターガンを含む)
- 上記の武器のフレームまたはレシーバー
- 銃器用マフラーまたは銃器用サイレンサー
- 以下を含む破壊的なデバイス

(1)爆発性ガス、発火性ガス、毒ガス

- (2) 爆弾
- (3) 手榴弾
- (4) 推進剤装薬が4オンスを超えるロケット
- (5) 4分の1オンス以上の爆発物又は焼夷弾を有するミサイル
- (6) 鋌山、または
- (7) 類似の装置
- (8) 爆発物その他の推進剤の作用により発射体を排出し、又は容易に変換することができる武器であつて、直径2分の1インチを超える口径の銃身を有するもの
- (9) 任意の装置を直前の2つの例に記載された破壊装置に変換するために設計または意図され、破壊装置を容易に組み立てることができる任意の組み合わせまたは部品。

懲戒処分の定義

オルタナティブクラスルーム (ACR)— 生徒は学校内の仲間グループから隔離されています。学生は、この期間中に割り当てられた課題を補うことが期待されています。

停学— 生徒は、10日を超えない期間、教育現場および学校の施設から除外されます。

退学— 教育委員会は、1年を超えない期間、生徒を教育現場から排除する措置をとることができます。(理事会方針マニュアルの方針#8035)。

抑留

居残りは、代替教室または停学が不要な場合に生徒に割り当てられる場合があります。居残りは放課後、午後5時分から割り当てられます。異なる交通手段の手配が必要な場合、親には拘留の割り当てが通知されるため、拘留が送達される前に交通手段の手配を完了できます。拘禁は、不適切な言葉遣いの使用、指示や規則に従わなかった場合、授業に遅刻した場合、割り当てられたエリアにいなかった場合に限定されません。生徒は、学校の規則と学校についての規則に従うことを学ばなければなりません。結果は本質的に漸進的であり、一般的に昼食または放課後(1時間)の拘留から始まり、複数の放課後の拘留、土曜日の拘留、またはACRへと進行します。拘留は認定された教師の監督の下で行われ、生徒はその間に学業を完了することが期待されます。生徒が学校の規則や指示に従わない場合、または割り当てられた拘留に繰り返し従わなかった場合、複数回の拘留が割り当てられます。割り当てられた居残りを怠った生徒は、1日のACRから1日までの学校外の停学が割り当てられ、居残りは補填されます。

停学と追放

繰り返し、またはより深刻な不服従や不正行為を犯した生徒は、保護観察、授業時間外に拘留、代替教室またはACR(学校での停学)、学校からの停学、スクールバスへの乗車の停止、学校からの退学、またはその他の懲戒処分を受ける可能性があります。ACRの生徒は、悪い行動の根本的な原因に対処するために、スクールカウンセラーやソーシャルワーカーとの面談を含む反省活動を完了します。さらに、修復的司法の実践と再関与会議は、学生が代替環境からの正常な移行を支援するためのツールです。

学生は、停学の結果として欠席したすべての学業と試験を補うことが許可されています。停学中に提供されたすべての宿題は、学校から回収し、完了し、生徒が学校に戻ることを許可された日に返却する必要があります。これを怠ると、クレジットは付与されません。すべての小テストとテストは、生徒が学校に戻ったときにできるだけ早く実施されます(これには、戻った最初の日が含まれる場合があります)。

校 またはその指名を受けた者は、生徒を保護観察、放課後の拘留、停学、またはその他の方法で生徒を懲戒することができます。教育 または校 は、生徒を学校から停学させたり、バスに乗ったりする権限を与えられています。生徒を退学処分にするのができるのは教育委員会だけです。停学および退学は、イリノイ州学校法第10条-22.6に従って行われるものとします。

権限の委譲

各教師、および生徒が自分の担当下にある場合の他の学校職員は、停学、退学、体罰、または学校内での停学以外の懲戒処分を課す権限があり、これは適切であり、生徒の規律に関する方針と規則に従っています。教師、その他の認定された教育職員、および生徒のために、または生徒に関して関連するサービスを提供するその他の人は、他の生徒、学校職員、またはその他の人の安全を維持するために、または自己防衛または財産の防衛を目的として、必要に応じて合理的な力を行使することができます。教師は、迷惑行為をした生徒を教室から退出させることができます。懲戒処分の根拠は、生徒の行為が学校または学校の活動に合理的に関連している場合に適用されますが、これらに限定されません。

- 1.放課前、放課中、放課後、または学校が学校グループによって使用されているその他の時間に、学校の敷地上または視界内。
- 2.学校が主催する活動、イベント、または学校と合理的な関係を持つ活動やイベントでの学校の敷地外。
- 3.学校への往復、または学校の活動、行事、イベント。または4.スタッフに対する脅迫や脅迫の試み、または学校の目的や教育機能への干渉と合理的に考えられる行為であれば、どこでも。

ルールとレギュレーション

これらの規則および規制は、学校、昼食時間、バス、自宅および外出の課外プログラムイベント、フィールドトリップ、または生徒が学校の監督下にある場所またはCHSの代表者がいる場所を問わず、学校の日中および学校が主催する活動で発生する生徒の違反を対象とするものとします。さらに、学校の規律、または生徒とスタッフの一般的な安全と福祉に直接的かつ直接的な影響を与える、学校内または学校外での生徒の不正行為または行動は、懲戒処分の対象となります。学生の違反は3つのカテゴリーに分類され、懲戒処分は違反の重大性によって決定されるものとします。さらに、1年前に生徒の行動の動向を正確に予測できるハンドブックはありません。したがって、条件が正当化されるように、学校管理者は、学年度を通じてこのハンドブックに規則、規制、および結果を追加する権利を有します。その場合、生徒と保護者にはハンドブックの変更が正式に通知されます。これらの不適切な行動の行為は累積的であると見なされ、42は高校でのキャリアの間、生徒と一緒に残ります。カテゴリーは、次のように分類されるものとします。

分類番号1

この種の違反を犯した生徒は、即時停学処分を受けた後、ユニット#5教育委員会に退学勧告を受けるものとします。さらに、警察の報告書が適切な当局に提出されます。クラス10の違反を犯した生徒は、生徒と保護者が行政によって提案された推奨治療を受けた場合、罰則を軽減するオプションが提供される場合があります。この種の行為には、次のものが含まれるものとします。

1. 生徒ハンドブック及び教育委員会の方針の「武器」の項に違反して、武器を使用、所持、管理、譲渡する行為
2. 地区の従業員に対する身体的暴力および/または脅迫的な暴行。
3. マリファナ、医療用マリファナまたは麻薬関連器具、麻薬、類似薬物、アルコール飲料、およびその他の規制薬物の違法な使用、配布、または所持。生徒の身体的または精神的機能を変化させる物質の誤用または乱用は容認されません。例としては、塗料や接着剤のハフなどがあります。さらに、何人も、酩酊、昏迷、うつ病、めまい、麻痺、不合理な行動の状態を誘発する目的で、または聴覚、視覚、または精神的なプロセスを何らかの方法で変化、歪め、または妨害する目的で、化合物、液体、化学物質、ま

たはその他の物質を吸入、吸入、または飲んでではありません。さらに、これには、アルコール飲料や違法薬物(学校の敷地外で任意の量を消費し、学校の敷地に来たり、学校が主催するイベントに参加したりする生徒)が含まれます。そのような物質を配布した学生は、退学を勧告されます。行動に影響を与える物質を使用または配布している他の学生と一緒にいる学生は、最低(3)日間停学されるものとします。

4. 誤火災、災害警報、パニックボタンを作動させる。

5. \$200.00以上の盗難。

6. 爆弾の脅迫を呼びかける。

注:すべての分類No.1の違反は、カータービル警察署に報告されるものとします

分類番号2

この種の違反を犯した学生は、直ちに停学および/または退学の対象となります。この種の不正行為に対する懲戒処分は、分類に基づいて課せられる処分よりも軽くなる可能性があります。この種の行為には、次のものが含まれるものとします。

1. 喧嘩をしたり、故意に他人に怪我をさせたりすること。

2. 喫煙、タバコ製品の所持、または電子タバコ、その他の類似物を含むあらゆる形態のタバコの使用、学校の敷地内のあらゆる場所、または学校が主催する活動(学校内、バス、自宅または外出先の課外プログラムイベント、遠足、または生徒が学校の監督下にある場所、またはCHSの代表者である場所)。

3. 学校の所有物または他の学生または地区の従業員の個人所有物への意図的な損傷。(原状回復が必要となります)。

4. クラスからの退席、絶え間ない規則違反、教師への不服従、学校の敷地、クラス、または割り当てられたエリアからの無許可の退去を含むがこれらに限定されない重大な不服従。これには、個人またはグループのアクションが含まれます。

5. 窃盗および/または盗品の所持。学校の所有物または他人の所有物に損害を与えたり、損害を与えようとしたり、盗んだり、盗もうとしたりする行為。

6. 学校のコンピューター施設、機器、ソフトウェアの不正使用、および著作権法およびライセンス契約の違反。違反は適切な法執行機関に照会されます。

7. 生徒は、脅迫的な発言を他の生徒に伝えることはできません。生徒は、搜索、保護者への通知、警察への通知、および学校からの停学の対象となります。

8. 他の生徒へのいじめやいじめは常に禁止されています。生徒は、暴力、力、騒音、強制、脅迫、脅迫、恐怖、またはその他の同様の行為を他人に対して使用したり、他の生徒にそのような行為を行うよう促したりしてはなりません。

9. 故意に喧嘩を扇動または助 する行為

注:分類No.2の違反は、カータービル警察署に報告される場合があります。

*キャンパス内、キャンパス周辺、バス輸送、または学校主催の活動で戦闘に巻き込まれた学生は、次の対象となります。

1. 保護者への通知。

2. 警察に通報し、逮捕します。

3. 停学。

分類番号3

この種の違反を犯した生徒は、口頭での懲戒から退学に至るまでの懲戒処分の対象となります。その結

果、この分類の継続的な違反は累積的な効果となり、継続的な違反に対してより強力な措置が講じられます。分類番号3の違反の種類は、次のとおりです。

1. クラスおよび/または学校の不登校。
2. 過度の遅刻。
3. 冒瀆的、わいせつ、扇動的、または威圧的な言葉やジェスチャーの使用。
4. セクシャルハラスメントを含むあらゆる種類のハラスメント。
5. 学校所有物の無断使用
6. 学校財産の軽視これには、ポイ捨て、ロッカーの汚損、壁へのマーキングなどが含まれますが、これらに限定されません。
7. 行政の許可なく看板等を掲示する行為
8. 学生駐車規則の無視。「StudentAutomobilesandCycles」を参照してください。
9. スタッフまたは学校関係者からの指示、および/または生徒の行動を管理する規則や規制を軽視したり、従わなかったりします。
10. 偽造。
11. ギャンブル。
12. キャンパス内、学校主催の活動、またはスクールバスの乗客としての不正行為。
13. 学生ハンドブックに含まれているが、分類1、2、および3で特に対処されていない懲戒規則および規制の違反。
14. 停学または退学中に学校のキャンパスまたは学校が主催する活動に無許可で立ち会うこと。
15. スケートボードやレーザーポインターは学校に持ち込まないでください。
16. 教室、廊下、廊下、トイレでの飲食物の禁止を無視する。
17. 屋内で開催される学校および学校主催の活動でのヘッドカバーの着用の禁止を無視します。
18. 割り当てられた拘留に出頭しなかった場合。
19. 不適切な愛情表現。適切な愛情表現には、手をつなぐ、短い抱擁をする、腕を回すなどがあります。その他の愛情表現は不適切とみなされます。
20. 学校や学校の敷地内でのナイフの使用は禁止されています。
21. 名誉規範の違反。
22. 学校の目的または教育機能への干渉を構成する活動、または髪の色、ボディピアスなどを含むがこれらに限定されない破壊的な活動への関与。
23. 割り当てられた合法的な職務の遂行における学校職員への干渉。
24. OpenElectronicAcceptableUsePolicyまたはCartervilleHighSchoolComputerandInternetPolicyの違反。
25. 許可されていないバックパックまたはブックバッグの使用。ブックバッグとバックパックは一日中ロッカーに保管し、教室、体育館、ランチルーム、または実験室に持ち込まないでください。

行政上の懲戒処分

懲戒処分は、生徒の違反の3つの異なる分類に対して一貫性があり、適切です。違反の分類ごとに推奨される罰則は最低限のものと見なされ、より厳しい措置が取られないことを意味するものではありません。(各懲戒処分は、担当管理者の判断により適切に対応いたします。生徒の違反の分類ごとに適切な懲戒処分を決定する際のガイドとして、次の手順が推奨されます。学生は、薬物を販売したり、装填された銃器をキャンパスに持ち込んだり、学校が主催する活動やスクールバスを持ち込んだり、爆弾の脅迫をしたり、教師やスタッフを物理的に攻撃

したりした場合、最大2年間退学するものとします。

分類NO.1違反

初犯-教育委員会に退学勧告。最初の違反で、学生は1年間退学させられ、ペナルティを10日間の停学に減らすオプションが提供される場合があります。CHSIは、紹介時に両親およびまたは治療施設からの情報の公開を要求します。プログラムのいずれかの要素に従わない場合、追放が再開されます。このオプションは、次のコンポーネントで構成されています。

1. 学生は、承認された薬物/アルコール教育/リハビリテーション評価施設で評価/評価を受けます。
2. 学生は、評価/評価の結果として、その施設によって処方された治療を受けます。
3. 学生、親、または法定後見人は、評価/評価およびその後の治療に関連するすべての費用を負担します。
4. 生徒、保護者、および/または法定後見人は、施設が生徒の状態と治療プログラムの進捗状況について学校と連絡を取ることを許可します。
5. 上記の手順は、薬物および/またはアルコールの配布に責任があることが判明した学生には利用できません。
6. 深刻な問題を示し、薬物やアルコールを使用、配布、所持している生徒は、校 または校 が指定した機関から、生徒が問題を理解し、管理計画を立てるのに役立つように設計されたプログラムを持つ外部機関(地方または郡)に紹介される場合があります。効果的であるためには、プログラムは家族カウンセリングに重点を置いた自発的なものであるべきです。2回目の違反 -1暦年間の学校からの退学。

注:すべての分類No.1の違反は、カータービル警察署に報告されるものとします。

分類NO.2 違反

初犯 -1日から5日間の学校内/学校外での停学。2回目の違反 -5日間の休校処分。

3回目の違反 -10日間の停学処分と追放の勧告。

分類番号3の違反

初犯-口頭での懲戒処分から5日間の学校内停学/学校外停学。

度重なる違反:1日から5日間の停学処分(退学処分を含む)。

ヒアリングの手順

I. 停止手続き

A. 中断前会議

1. 権限のある管理者は、懲戒処分を行う前に、停学を検討している学生と相談するものとします。
2. 一時停止前の会議の前または最中に、権限のある管理者は、学生が特殊教育の学生であるか、特殊教育サービスを受ける資格がある可能性があるかどうかを確認するものとします。その場合、権限のある管理者は、理事会方針マニュアルのセクションIVに記載されている手順に従わなければなりません。
3. 学生は、提案された停学の理由とそれらの理由を裏付ける証拠について通知されるものとします。また、学生には回答する機会が与えられます。

4. 学生と協議する権限のある管理者は、会議の記録を書面で作成するものとします。
5. 権限のある管理者は、上記の事前停学手続きを行った後、以下に定める通知要件に従って、学生を停学にするかどうかを決定することができます。
6. 権限のある管理者の意見により、生徒が学校の職員、他の生徒、または学校の財産に差し迫った脅威をもたらす場合、上記のように停学前の会議を開催することなく、生徒を学校から即座に退学させることができます。その場合は、保護者に通知するものとします。通知は、通知を受け取った後、できるだけ早く停学後の会議に出席するよう学生に要求するものとします。予定された会議に出席しなかった場合、当該会議を放棄したものとみなされます。停学処分後の会議への生徒の出席に関係なく、保護者はその後の懲戒決定について書面で通知されるものとします。

B. 停止通知

1. 停学前または停学後の会議で停学の決定が下された場合、生徒の保護者は、配達証明付き郵便で送付された書面による通知、受領書の要求により、その決定を直ちに通知されるものとします。
2. 保護者への通知には、次のものを含めるものとします。
 - a. 違反した校則を含む停学の理由の陳述書。
 - b. 停学処分に関する校 との面談の招待状。
 - c. 停止の日付と期間
 - d. 学区のヒアリングオフィサーに停学処分の審査を要求する保護者の権利と、教育委員会によるその後の審査を受ける権利の声明。
 - e. 通知の受領後5日以内、または郵送日から8日後のいずれか早い方までにそのような審査を要求しなかった場合、理事会による審査聴聞会を受ける権利を放棄したものとみなされるという声明。
 - f. 弁護士またはその他の代理人による停止審査の聴聞会で代理される権利の通知。そして
 - g. 停止審査の聴聞手続きの写し。
3. 一時停止の見直しの要求は、口頭または書面で、教育 室に向けることができます。口頭での通知は、両親への手紙によって書面で確認しなければならない。停学処分の審査請求が適時に行われた場合、停学処分を受けた生徒の保護者は、審査の少なくとも 週間前までに、教育委員会に時間と場所を書面で通知しなければならない。保護者が停学処分の見直しを要求する際に、生徒が特殊教育の学生であると主張した場合、権限のある管理者は、理事会ポリシーマニュアルのセクションIVで設定された手順に従うものとします。
4. 教育 と教育委員会は、権限のある管理者から生徒の停学を通知され、管理者は、停学の保護者通知のコピーを教育 と理事会の書記に転送するものとします。

(2) 除名手続き

- A. 退学を勧告する前に、権限のある管理者は、生徒が特殊教育の学生であるかどうかを確認する必要があります。その場合は、セクションIVに記載されている手順に従う必要があります。追放に先立って停職処分が行われる場合は、セクションIIに定める停学手続きを除名聴聞会と組み合わせる必要があります。
- B. 除籍届
 1. 権限のある管理者は、退学の聴聞会を通知する学生の両親に、配達証明付き郵便で手紙を送付するものとします。
 2. 父 への退学通知には、次のものを含めるものとします。
 - a. 違反した校則を含む、提案された退学の理由の声明。
 - b. 追放の潜在的な最大期間。
 - c. 除名聴聞会の時間と場所
 - d. 弁護士またはその他の代表者による追放として表される親の権利の声明。そして
 - e. 除名聴聞手続きの写し。
- C. 退学再入学会議- 校 、退学処分を受けた生徒、およびその保護者の間で、生徒の再入学前に会議を行う

ものとしします。

III. 停職処分の審査/除名に関する一般的な手続き

A. ヒアリング構造

1. 学区の聴聞官は、停学審査または退学聴聞会を行うものとしします。聴聞官は、聴取した証拠の要約書を教育委員会に提出しなければならない。
2. 聴聞官が行った除名聴聞会の要旨に含まれる証拠の審査は、聴聞会の日から三十日以内に教育委員会が執行部で行わなければならない。
3. 理事会は、聴聞会の後、適切と思われる場合、停学または退学の提案を肯定または覆す、または生徒の再入学を条件付けるなど、そのような措置を講じることができます。
4. 理事会が停学または退学が不当であると判断した場合、学生の記録から停学または退学の提案に関するすべての表記を抹消することができ、懲戒上の理由による関連する学生の欠席は「免除」とマークされるものとしします。学生には、テストやその他の授業を含むがこれらに限定されない、失われたすべての教育機会を補う機会が与えられる場合があります。
5. 理事会の決定は最終的なものとする。
6. 停学処分の審査または除名聴聞会に関する理事会の決定の書面による通知は、保護者に郵送されるものとしします。除名は、直ちに、または理事会が指定したとおりに発効する場合があります。

B. ヒアリングの手順

1. 生徒の規律に関するヒアリングや会議は、すべて非公開で行わなければならない。教育委員会へのヒアリングは、役員会で行います。
2. 学生は両親と一緒に聴聞会に出席することができ、弁護士またはその他の代理人が代理人を務めることができます。保護者または生徒が出席しないが、権限のある管理者が授受した通知の証拠を持っている場合、ヒアリングオフィサーはヒアリングを続行するか、スケジュールを変更するかを選択できます。
3. ヒアリングは、速記またはテープで記録することができます。いずれかの当事者が記録を作成した場合、他方の当事者には、謄本またはテープのコピーを購入する機会が提供されるものとしします。
4. 審問官は、聴聞会において、次の2つの事項について決定し、認定するものとする。
 - a. 重大な不服従または違法行為の告発の有効性。そして
 - b. 告発が維持される場合の適切な懲戒処分。
5. 生徒が特殊教育の学生である場合、または公聴会中に彼が特殊教育の学生である可能性があるとして主張する場合、理事会はセクションIVに定める手順にも従わなければなりません。
6. 聴聞会は、次のとおり行う。
 - a. 聴聞会の開始時に、いずれの当事者も証人の参加を要求することができます。
 - b. 権限のある管理者と学生は、重大な不服従または違法行為の告発と適切な懲戒の両方について、短い冒頭陳述を行うことができます。
 - c. 権限のある管理者は、該当する場合は、本ポリシーのセクションIVの遵守の証明を含む証拠を最初に提示するものとしします。学生は、出席したすべての証人を反対尋問し、権限のある管理者によって提出された書面による証拠を確認することができます。
 - d. その後、学生は告発に反論するための証拠を提示することができます。権限のある管理者は、出席したすべての証人を反対尋問し、学生が提出した書面による証拠を確認することができます。
 - e. 審問官は、いつでも、当事者またはその証人に直接質問することができます。
 - f. 権限のある管理者と学生は、公聴会の終了時に、重大な不服従または違法行為の問題と適切な懲戒の問題の両方について閉会陳述を行うことができます。
7. 審問官は、証拠の法的規則にかかわらず、関連するすべての口頭又は書面による証拠を受け取ることができるが、争点を決定するに当たっては、証拠の重みを考慮しなければならない。
 - a. 権限のある管理者は、証人のいずれかが身体的または精神的嫌がらせを受ける可能性がある、

または緊急事態が存在すると判断した場合、権限のある管理者は、証人を聴聞会に出席させる必要はありませんが、証言の欠席証人が作成した要約書を証拠として提示することができます。要約には、証人の欠席の理由及び要約の内容が真実であることを確認する陳述書を記載しなければならない。報復の差し迫った恐れが存在する場合は、権限のある管理者は、証人の身元を隠蔽した書面による陳述書を提示することもできます。

- b. 審問官は、重大な不服従または違法行為の告発の有効性を判断する際に、学生の学業成績または懲戒記録を考慮しないものとします。ただし、審問官は、適切な懲戒処分を決定する際に、学生の記録を確認することができます。

特殊教育の学生の停学と退学のための追加の手順。

1. 生徒の特別教育プログラムによって規定されたクラスからの特殊教育の生徒の除外または排除は、行為または行動またはその欠如に起因するものであり、停学と見なされるものとします。
2. クラスからの退学、除外、停止、または退学が発生した場合は、特殊教育事務所の特殊教育ディレクターへの即時の電話通知を同日行う必要があります。
3. 特殊教育の学生の退学、排除、停学、または退学に関連するすべての書類のコピーは、特殊教育事務所に転送されるものとします。
4. 停止の理由に精通している管理者は、できるだけ早く開催される学際的会議に出席する必要があります。
 - a. 必要に応じて暫定的なサービスを手配するため。
 - b. 現在の配置内で変更を行う必要があるかどうかを判断する。
 - c. より制限の厳しい配置が必要かどうかを判断するため。
 - d. 適切な行動管理計画を策定する。
 - e. 該当する場合は、停学を必要とする行動と生徒の特殊教育の適格性との関係の可能性に関する声明を準備すること。
 - f. 必要に応じて、暫定的なサービス計画を準備します。
 - g. 必要に応じて暫定サービスのためにIEPを準備する。
5. 生徒の停学が10日以上延べられた場合、または生徒が退学した場合、できるだけ早く特殊教育局の特殊教育ディレクターに電話で通知するものとし、訴訟や適正手続きの聴聞会など、生徒のプログラムに関連する理由やその他の問題に精通した管理者とともに、追加の学際的な聴聞会を開催する場合があります。

出席

公立学校の主な資金源は、毎日の平均出席率に基づいています。したがって、お子様の予約をスケジュールする際には、次の情報を考慮するようお願いいたします。

1. 生徒が欠席しても出席をカウントできる時間は、その学年の予定されている休憩や休憩に基づいて、学年ごとにわずかに異なります。また、昼食期間中の欠席は欠席の計算に含めません。
2. 平均して、最大30分欠席しても、学校の日中出席しているとカウントされます。
3. 平均して、31分から180分まで欠席し、1/2日存在としてカウントされます。
4. 平均して、181分以上欠席した場合、その人は丸一日欠席したとカウントされます。

生徒は、病気や家族の死亡の場合を除き、毎日学校に通うことが期待されています。欠席が免除されるか、免除されないかは、学校の管理者が最終決定を下します。学校の資金は出席に直接依存していることに注意することが重要です。子供が不在の場合、保護者は午前8時30分までにオフィスに電話するよう求められます。保護者は、学校の営業時間前に電話して、オフィスの留守番電話にメッセージを残すことができます。出席秘書は、子供の欠席が報告されていない場合、親/保護者に連絡します。

午前8時3分以降に教室に到着した生徒は遅刻とみなされます。^{1時間}遅刻した生徒は、授業に行く前にオフィスに報告する必要があります。このルールには、朝食を食べる学生が含まれ、バスの乗客が遅れる学生は除外されません。予約やその他の理由で遅れて到着した学生は、到着前に欠席した作業に対して責任と説明責任を負います。これらの手順は生徒の安全のためであり、学校に向かう途中で生徒に何かが起こっていないことを教師と校に保証します。

病気、緊急事態、その他の正当な理由により欠席が必要な場合は、保護者は欠席日の午前9時までに事務所に電話してください。電話番号は_____です。学生が病気ではないときの予約のための医師のメモは、半日の出席を許します。学生は、予約の前後に出席することが期待されています。過度の欠席は、登校日の10%(9日)と見なされます。9回目の欠席後、欠席の原因となる身体的または感情的な状態については、医療文書が必要になります。そのような書類を提出しなかった場合、言い訳のない欠席が割り当てられます。医療文書は欠席から1週間以内に受け取らなければなりません。

過度の欠勤

最初の学年四半期の終わりに、現在の学年度の学生の欠席のリストを生成します。学年の5%以上を欠席した生徒は、手紙を家に送り、運動会、ダンス、遠足、演劇などの課外活動の特権を拒否されます。5%以降の欠席ごとに、欠席の原因となる身体的または感情的な状態の医学的文書が必要になります。そのような書類を提出しなかった場合、言い訳のない欠席が割り当てられます。生徒が1期の病気や怪我のために欠席し、十分な医療文書を提出した場合、校は0%ルールを免除することができます。超過欠席リストは、学期の途中および通常の採点期間の終わりに更新されます。

市 イベント欠席の免除

市 イベントに参加するために1日学校を欠席した生徒は、市 活動の文書を受け取った後、管理上の免除された欠席を受け取ることができます。市 参加のための免除された欠席は、他の免除された欠席と同様に扱われます。

遅刻

期間のベルが鳴ったときに部屋にいない学生は、遅刻としてマークされます。言い訳のない遅刻は、学生の皆勤記録にカウントされます。合計タルティの数が5を超える場合は、保護者に連絡します。追加の遅刻を伴う追加の結果が生じる可能性があります。

各学期、学生はクラスごとに2つの「無料」遅刻が許可されます。これは、彼または彼女がこれら2つの機会に遅れたために何の影響も受けないことを意味します。^{3回目}の遅刻とその後の遅刻には、昼食の居残りから放課後の居残り、または必要に応じてACRに至るまでの処分が発行されます。新しい始まりと時間厳守の改善を促進するために、学生の遅刻記録は2学期から新たに始まります。生徒が授業に遅刻したり、朝学校に遅刻したりすると、遅刻としてカウントされます(保護者にパンク、緊急事態などの正当な理由がある場合を除く)。親が遅刻を認めたからといって、自動的に遅刻が許されるわけではありません。

登校拒否

イリノイ州の出席ガイドラインでは、正当な理由なく過去180日間の通常の授業日数の1%以上5%未満(言い訳のない欠席)を欠席した生徒を不登校と定義しています。ESSA(EveryStudentSucceedsAct)に基づく連邦ガイドラインは、慢性的に欠席すると、何らかの理由で学年(18日)の10%以上を欠席した学生と定義しています。故意かつ故意に子供を不登校にさせる親または保護者は、州法に違反しています。

欠勤レポートは隔週で生成されます。2回以上の無断欠席をした学生には、出席方針/規則が記載された手紙が家に送られます。3回以上の無断欠席をした生徒は、不登校のために地域教育局に照会することができます。複数の言い訳のない欠席は、追加のアクションのためにウィリアムソン郡の州の弁護士に伝達される子供の出席記録になります。

*学年度中いつでも、学年度の生徒の総出席日数に基づいて、理由のない欠席の5%またはすべての欠席の10%に達した生徒に対して不登校の紹介を行うことができます。

*生徒が学年度中に私たちの地区に引っ越す場合、不登校の紹介を行う際には、前の学校からの出席が考慮されます。

ドレスコードの理念

- すべての生徒は、学校のために快適な服装をし、恐れることなく、または実際に教育環境に従事できる必要があります。不必要なしつけやボディシェイミング。
- すべての学生とスタッフは、規制することなく、自分の個人的な「気晴らし」を管理する責任があることを理解する必要があります。個々の生徒の服装/自己表現。
- 生徒の服装規定の施行は、学校への出席に不必要な障壁をもたらすべきではありません。
- 学校のスタッフは、生徒/ボディポジティブな言葉を使用して、コードを説明し、コード違反に対処する必要があります。

衣料品への期待

CJHSは、すべての生徒が学校の日または学校主催のイベントに適した服装をすることを期待しています。生徒の服装は、生徒の健康/安全を妨げたり、生徒の敵対的または威圧的な雰囲気を作り出したりしてはなりません。服装規定の施行は、人種、性別、性自認、性的指向、民族、宗教、世帯収入、体型/サイズに基づくグループの疎外や抑圧を強化または増加させるものであってはなりません。生徒の服装に対する制限は、学校の全体的な教育目標をサポートするために必要でなければなりません。

謙虚さと一般的な礼儀に関して、CJHSの全体的な目標は、すべてのプライベートエリアがすべての生徒に常に覆われるように衣服を着用することです。さらに、服装は、イメージや言語の面で、前向きで安全な学校文化/風土をサポートする必要があります。

次の一覧は、前述の目標を達成するための具体例を示しています。

- 衣類は、アルコール、薬物、電子タバコ、道具、または違法なアイテムや活動を宣伝してはなりません。
- 衣服には、保護された階級や常に疎外されたグループに基づいて敵対的または威圧的な環境を作り出す画像や言葉が含まれてはなりません。
- 衣服は、いかなる種類の暴力、ヘイトスピーチ、冒瀆、ポルノ、または性的行為を示唆または描写してはなりません。
- 挑発的または品位を傷つけるもの、または他の学生に安全上の懸念をもたらすジュエリーやアクセサリは着用してはなりません。
- 帽子、バンダナ、フード、サングラスは、学校の日中は頭にかぶってはいけません。
- ヘッドホンとイヤフォンは、教育目的で、および/または許可を得てのみ着用する必要があります。
- 衣服は、目に見える下着や陰部を露出してはなりません。
 - シャツやブラウスは、ウエスト、中央部、ミッドリフ、背中、または肩を露出してはなりません。

- スパゲッティストラップトップスやゆったりとしたノースリーブのマッスルTシャツは着用できません。
- 深いVネックまたは急落したネックラインのシャツまたはトップスは着用できません。
- シースルーの衣服(レース、ニット、メッシュなど)は、下にしっかりとした衣服を着用しない限り、着用できません。
- ズボン/ショーツの穴は、下着や陰部を露出させないでください。行政は、その場所にもかかわらず、異常に大きな穴のあるズボンを規制する権利を留保します。また、太ももの真ん中より上のズボンやショーツに肌が見える穴やほつれがあってはなりません。
- ズボンを垂れ下がらせて着用しないでください。
- パジャマやパジャマは、フルレングスのフランネルパンツまたはフリースパンツ以外の服装は禁止されています。
- スカート、ドレス、またはショーツは、ズボンまたはショーツを下に着用しない限り、立っているときに太ももの真ん中より上にすることはできません。

ドレスコードの施行

- ドレスコードに違反した学生には、次の3つのオプションが提供されます。

- 生徒は、学校ですでに利用可能な場合は、その日の残りの期間着用するために、自分の代替服を着るように求められます。
- 生徒には、その日の残りの期間着用する一時的な学校服が提供されます。
- 必要に応じて、生徒の両親/保護者は、生徒がその日の残りの時間に着用するための代替の服を持参するように呼ばれる場合があります。

服装規定違反が継続的な違反である場合、生徒は処分を受けます。同様に、服装規定違反後に着替えを拒否することは、不服従と見なされ、結果をもたらします。経済的に困窮しているために服装規定に違反している学生は、カウンセラーまたは管理者に相談する必要があります。ドレスコードのガイドラインは、通常の学校の日とサマースクールの日、およびドレスアップの日、ダンス、昇進式などの学校関連のイベントや活動に適用されます。

- 生徒は、学校で他の人の前で自分の体を恥じたり、見せたりすることを要求されるべきではありません
- 「シェイミング」には、以下が含まれますが、これらに限定されません。
 - 膝をついたり、身をかがめたりして服装を確認する
 - ストラップまたはショーツ/スカートの さを測定する
 - 教室や廊下で他の人の前で服装を説明するよう生徒に求める
 - 共用エリア、廊下、教室で他の人の前で服装規定違反と思われることについて生徒に呼びかける
 - 服装で他の生徒の「気を散らした」と生徒を非難する

ダンスの資格

これらの特権への参加は、カータービル高校の規律と出席の方針によって管理されます。学生は、管理者によって決定された良好な状態である必要があります。ACR、OSS、または退学違反で停学処分を受けた学生は、次に予定されているダンスに参加することが禁止されます。また、ダンスの時点でクラスに不合格になった生徒は、ダンスへの参加から除外されます。

タバコ、アルコールや薬物の使用、喧嘩に関する学校の方針は、夜の課外活動にも適用されます。ダンス、パーティー、その他の社交行事では、服装の基準が施行されます。

中学校行事における生徒・来場者の行動

運動会に参加する生徒は、自分自身で行動することが期待されています。各イベントに適用されるルールに従う

ものとし、これらのルールに精通し、遵守することは彼らの責任です。ルール違反を繰り返すと、イベントに参加する権限が失われます。リスクのある生徒(出席率や成績が悪いと定義される)は、保護者の同伴がない限り、中学校および高校の課外活動(アウェイコンテストを含む)への入場を拒否されます。生徒がステータスを改善し、リスクがなくなると判断されると、課外イベントへの参加が許可されます。これは、最初の9週間の採点期間の終了時と、その後の中間および四半期ごとの採点期間に行われます。リスクは、次の質問によって定義されます。学年がその日に終了した場合、生徒は次の学年に進級しますか? 答えが「いいえ」の場合、生徒は危険にさらされています。

すべての学生と訪問者は、優れたスポーツマンシップの条件に従わなければなりません。これには、役員、コーチ、選手、対戦相手チームに対するブーイング、対立的、嫌がらせなどが含まれますが、これらに限定されません。この倫理規定は、ホームとアウェーの両方の試合に適用されます。この行動規範に従わない場合、個人が違反行為の10日間の書面による通知を受け取り、要求された場合は教育委員会の前で聴聞会を受ける権利があることを条件に、最大1年間学校行事への入場を拒否される可能性があります。学校の管理者代理が、規則に従わなかったり、混乱を引き起こしたりした観客をイベントから直ちに排除することを禁じるものは何もありません。(イリノイ州学校コードセクション 5/24-24)

バスケットボールの試合に関する学生ポリシー

1. 学校のアクティビティパスを持っていない学生は、ゲームに参加するために通常の入場料を支払う必要があります。
2. 生徒が校舎を離れる場合、その生徒は学校に戻ることができません。
3. 生徒は、指定されたカータービル中学校のセクションに座るか、保護者と一緒に座ることができます。
4. 試合終了後、保護者が迎えに来てくれるよう手配してください。
5. カンファレンストーナメントや地域トーナメントの試合にパスを使用することはできません。
6. 人工的なノイズメーカー(ホーン、アヒルの鳴き声、ベルなど)は許可されていません。
7. カータービルの学生によるブーイングは許可されていません。
8. カータービルの生徒は、試合の進行中にプレイヤーのベンチの前を歩いてはいけません。
9. カータービルの学生は、訪問チームとそのファンに優れたスポーツマンシップを示す必要があります。

学生検索

学生は、学生用ロッカーが学区の所有物であることを念頭に置き、そのように扱う必要があります。学区の職員は、生徒に割り当てられたロッカーをいつでも検査する権利があります。さらに、いずれかのアイテムが学生または他の学生の安全または幸福を危険にさらす可能性があるという合理的な疑いがある場合、または物質が学生の所持している疑いがある場合、学生の私物が検索される場合があります。

金属探知機ワンド

金属探知機の杖は、管理者が問題の生徒が所有している重要なアイテムの合理的な疑いがあると判断した場合に使用できます。管理者が立ち会い、金属探知機のワンディングを実行します。

セクハラ

セクシャルハラスメントの被害者である生徒は、カウンセラーまたは校 を通じて、またはそれらのいずれかがセクシャルハラスメントの行為または苦情を申し立てた行為を犯したとされる場合は、教育 を通じて学区に通知することをお勧めします。このような報告は、告発の詳細を詳述した書面で作成することが要求され、事件後合理的な期間内に提出する必要があります。当事者の身元および苦情を申し立てられた出来事は、実行可能な範

囲で秘密にされるものとしします。回答した職員は、調査結果と行動の勧告を監督者に報告するものとしします。セクシュアルハラスメント行為は、事案の状況によっては、退学処分や懲戒処分の対象となることがあります。

セクシャルハラスメントリソース

イリノイ州教育委員会ISBEは、性的虐待への対応と防止に関するリソースガイドを維持しています。このガイドには、児童擁護センター、児童性的虐待の市に医学的評価と治療を提供する組織、児童性的虐待の被害者と家族にメンタルヘルスの評価とサービスを提供する組織、および児童性的虐待の被害者に法的支援を提供し、児童性的虐待の被害者に代わって擁護を提供する組織に関する情報と場所が含まれています。このガイドは、www.isbe.netのISBEウェブサイトからアクセスするか、学校のオフィスに連絡してこのガイドのコピーをリクエストできます。

暴力団と暴力団活動

教育委員会は、ギャングおよびギャング関連の活動は、安全で混乱のない環境を維持する学校の能力に重大な混乱を引き起こすと判断しました。教育委員会はさらに、ギャングおよびギャング活動が生徒の健康、安全、福祉を危険にさらす可能性のある行動、態度、および慣行を助長すると判断しました。このポリシーで定義されているギャングとは、主に法律およびまたは地区の規則や規制で禁止されている犯罪行為や破壊活動のために互いに関係する個人を意味するものとしします。これらの理由から、教育委員会は暴力団や暴力団活動に対しゼロトレランスの方針をとっています。

学校の敷地内または学校活動について、または学校活動に関する生徒は、次の行動に関与してはなりません。

1. 生徒は、衣類、宝飾品、エンブレム、バッジ、髪型、シンボル、入れ墨、看板、その他暴力団関係者であることを示すものを着用、所持、配布、描画、展示、販売してはなりません。
2. 生徒は、暴力団との関係を示すような行為や、言語的または非言語的(ジェスチャー、握手など)による発言をしてはなりません。
3. 学生は、以下を含むがこれらに限定されないギャング活動の利益を促進するためのいかなる行為も行ってはなりません。
 - a. 他者の暴力団員への勧誘
 - b. 金銭を強要したり、その他の方法で人を脅迫したり脅迫したりすること
 - c. 学区の方針または法および/または刑法に違反する行為に従事するように他者を扇動または指示すること。
4. 罰則:
 - a. このポリシーの第1項または第2項に違反した生徒は、学校関係者の決定に従って、問題のある衣服、素材、または物を降伏、覆う、処分、またはその他の方法で変更する必要があります。さらに、生徒は保護者会議に出席する必要があり、状況の重大性に応じて、拘留、および/または内部停学、および/または外部停学を受ける場合があります。その後、このポリシーに違反した場合、学生は停学および/または退学の勧告の対象となります。
 - b. このポリシーの第3項に違反した学生は、1年を超えない期間、停学および/または退学処分の対象となります。
 - c. すべての適切な場合において、法執行機関に連絡し、告発を行います。

いじめ、脅迫、嫌がらせ

いじめ、脅迫、嫌がらせは、生徒の学習能力と学校の教育能力を低下させます。生徒がこれらの破壊的な行動に

関与するのを防ぎ、すべての生徒が安全で敵対的でない学習環境に平等にアクセスできるようにすることは、地区と学校の重要な目標です。

人種、肌の色、出身国、兵役状況、兵役からの不利な除隊状況、性別、性的指向、性自認、性同一性または性表現、祖先、年齢、宗教、身体的または精神的障害、保護の順序、ホームレスの状態、実際のまたは潜在的な婚姻状況または親の状態、妊娠、養育状況、前述の実際の1つ以上の個人またはグループとの関係に基づくいじめまたは知覚される特性、またはその他の識別特性は、次の各状況で禁止されています。

1. 学校が後援する教育プログラムまたは活動中。
2. 学校にいる間、学校の敷地内、スクールバスまたはその他の学校の車両、スクールバスを待っている指定されたスクールバスの停留所、または学校が後援または学校が認可したイベントや活動。
3. 学校のコンピューター、学校のコンピューターネットワーク、またはその他の同様の電子学校機器からの情報の送信を通じて。
4. いじめが教育プロセスまたは学校の秩序ある運営に重大な混乱を引き起こす場合、学校に関係のない場所、活動、機能、またはプログラムでアクセスされるコンピューター、または学区または学校が所有、リース、または使用していないテクノロジーまたは電子機器の使用からの情報の送信。

いじめにはネットいじめが含まれ、以下のうちの1つ以上に影響を与える、または合理的に予測できる、生徒に向けられた書面または電子的なコミュニケーションを含む、重大または広範囲にわたる身体的または口頭での行為または行為を意味します。

1. 学生または学生の人または財産に危害を加える合理的な恐れを学生に置くこと。
2. 学生または学生の身体的または精神的健康に著しく有害な影響を与えること。
3. 学生または学生の学業成績を著しく妨げる。
4. 学校が提供するサービス、活動、または特権に参加したり、恩恵を受けたりする学生または学生の能力を大幅に妨害する。

ネットいじめとは、有線、無線、電磁システム、光電子システム、または写真光学システム(電子メール、インターネット通信、インスタントメッセージ、ファクシミリ通信を含むがこれらに限定されない)によって全体または一部が送信されるあらゆる性質の標識、信号、書き込み、画像、音声、データ、またはインテリジェンスの転送を含むがこれらに限定されない、テクノロジーまたは電子通信の使用によるいじめを意味します。ネットいじめには、作成者が他人の身元を装うウェブページやウェブログの作成、または投稿されたコンテンツやメッセージの作成者として他人のなりすましを知って作成またはなりすましを行うことが含まれます。ネットいじめには、複数の人への通信の電子的手段による配布、または配布または投稿がいじめの定義に列挙されている効果のいずれかを生み出す場合に、1人または複数の人がアクセスできる電子媒体への資料の投稿も含まれます。

いじめは、嫌がらせ、脅迫、脅迫、ストーカー行為、身体的暴力、セクシャルハラスメント、性的暴力、窃盗、公衆の面前での侮辱、財産の破壊、またはいじめ行為を主張または主張したことに対する報復など、さまざまな形態をとる可能性があります。このリストは、例示であり、すべてを網羅するものではありません。

生徒はすぐにいじめを報告することをお勧めします。報告は、校、差別禁止コーディネーター、地区苦情マネージャー、または学生が快適に話せるスタッフに口頭または書面で行うことができます。すべての学校職員は、いじめの相談やいじめの報告に利用できます。実際のいじめまたは脅迫されたいじめに関する情報を持っているスタッフや保護者/保護者を含む人は誰でも、地区の苦情マネージャーまたはスタッフに報告することをお勧めします。匿名での報告は、電話または書面でも受け付けています。

苦情処理担当者:

サarah・バarnstables・スタブル(Sarah Barnstable, Supt.)
200 West Plaza Drive., イリノイ州カータービル | jhartford@cartervilleschools.org 618-985-4826

200 West Plaza Drive., イリノイ

州カータービル

sbarnstable@cartervilleschools.org

618-985-4826

いじめ行為を報告した人に対する報復や報復は禁止されています。生徒の報復または報復行為は、結果またはその他の適切な是正措置を決定する目的で、いじめとして扱われます。

いじめの報告や情報の提供は、学校の調査でいじめがなかったと結論付けられた場合でも、生徒は罰せられません。ただし、故意に虚偽の告発を行ったり、故意に虚偽の情報を提供したりすることは、結果またはその他の適切な是正措置を決定する目的で、いじめとして扱われます。

生徒と保護者は、次の学区の方針を読むことも奨励されています: **PRESS7:20**、生徒の嫌がらせは禁止されています、**PRESS7:180**、いじめ、脅迫、嫌がらせの防止と対応。 **PRESS7:190**, 生徒の懲戒禁止と **7:180**, いじめ、脅迫、嫌がらせの防止と対応3.

相互参照: **PRESS7:20**、生徒の嫌がらせの禁止 **PRESS7:180**、いじめ、脅迫、嫌がらせの防止と対応

PRESS7:190、生徒の懲戒 **PRESS2:260**、統一苦情処理手順 生徒のプライバシー権を管理する連邦および州の法律および規則に従い、学校は、いじめの疑いのある事件への生徒の関与に学校の管理者が気付いた後 **24時間**以内に親または保護者に通知するよう熱心に努力するものとします。「いじめ事件」という用語には、いじめの個々の事例、およびいじめの結果であると判断されたすべての脅迫、暗示、または自傷行為の事例が含まれます。親または保護者への通知には、必要に応じて、ソーシャルワークサービス、カウンセリング、学校心理サービス、その他の介入、および回復措置の利用可能性を含めるものとします。

薬物乱用に関する方針

I. 用語の定義

このポリシーで使用される「禁止物質」という用語は、イリノイ州法で定義されているアルコール、規制薬物、および類似物質を意味します。 (Ill. Rev. Stat., ch. 56— 1/2, par. 1102 et.seq. および par1401以降。)

II. 禁止事項

学生は、禁止物質を所持、使用、配布、販売、または配布または販売を試みてはなりません。

III. 禁止物質の調査

A. ・物件検索

学校のロッカーの検索は、生徒がこのポリシーに違反しているという合理的な疑いがある場合にいつでも実施できます。

B. 個人検索

生徒のポケット、上着、財布、その他の所持品の検索は、生徒が本ポリシーに違反しているという合理的な疑いがある場合にいつでも行うことができます。ストリップ検索は禁止されています。

IV. 罰則

A. ・所持/影響下

1. 初犯の生徒は、最大10日間の停学処分を受ける
ある。 ことができます。生徒と保護者との面談

b.
2. その後の違反退学は推奨され、学生は退学手続きが終わるまで停学になります。イ.頒布、販売、頒布、販売の試み

1. 初犯生徒は最大10日間の停学処分を受けるか、退学を勧告される場合があります。
ある。 生徒と保護者との面談

b.
2. その後の違反の退学が推奨され、学生は退学手続きが終わるまで停学になります。

V. その他の手続き

医師の診察が必要な緊急事態では、生徒は直ちに学校から退学することができます。医療上の緊急事態、または本ポリシーの違反の兆候があるその他の場合は、地域の法執行機関に連絡する場合があります。このポリシーのセクションIVに規定されているすべての罰則は、理事会ポリシー-No.8035の学生規律を管理する法定要件および手順に従って管理されるものとします。

VI. ハフィングと吸入剤

生徒の身体的または精神的機能を変化させる物質の使用は容認されません。例としては、塗料や接着剤のハフなどがあります。何人も、酩酊、昏迷、抑うつ、めまい、麻痺、不合理な行動の状態を誘発する目的で、または聴覚、視覚、または精神的なプロセスを変化、歪め、または妨害する目的で、化合物、液体、化学物質、または物質を呼吸、吸入、または飲んではいけません。

許可されていないアイテム

以下の物品は、教室や学校の敷地内では許可されておらず、見つかった場合は没収の対象となります。

1. ナイフ、カミソリの刃、鋭利なものなど。
2. 銃砲、弾薬、部品・部品等
3. 爆竹またはその他の爆発物または装置
4. パチンコまたはその他の発射物
5. クラブ、ブラックジャック、パイプ、ブラスナックルなど
6. 武器となるように改造された通常のもの
7. 猥褻な文献や物品

8. 未承認の薬物または投薬
 9. アルコール性物質
 10. 赤外線レーザーポインター
 11. 紙巻きたばこまたはたばこ製品(ライターやマッチを含む)、電子たばこ、電子たばこ、電子たばこ、電子たばこリキッド、またはそっくりさん
 12. 暴力団のシンボルの絵、暴力団のシンボルの着用
 13. メイス、唐辛子スプレーなど
 14. 怪我を引き起こしたり、教育プロセスを中断したり、生徒の安全に影響を与えたりする可能性のあるもの
 15. 上記商品のそっくりさんも禁止です。
- 正当な理由がある場合、学校の敷地内で禁止されている物品を所持していることが判明した人は、イリノイ州およびアメリカ合衆国の法律に従って起訴されます。

個人用電子機器

学校として、保護者や生徒が携帯電話を便利に使えるようにしたいと考えています。携帯電話やその他の個人用電子機器は、私たちの生活の不可欠な部分です。ただし、学校での混乱になる可能性があります。授業中に電話が鳴る、生徒がトイレで電話をかける、カメラ付き携帯電話が不適切に使用されている、画像/ビデオ/テキストを投稿する、クラスで音楽を聴く、テキストメッセージ、いじめなど、混乱は何でもかまいません。これらのアイテムが学校内で適切に使用されるようにするために、いつ、どのように使用できるかについて具体的なガイドラインを作成しました。

CJHSは、生徒が自分の時間に携帯電話、イヤフォン、ヘッドフォン、およびウェアラブルテクノロジーを使用することを許可する場合があります(最初のベルの前、昼食、放課後-午後3時05分と定義)。ゲームをしたり、テキストメッセージを送ったり、音楽を聴いたり、インターネットを閲覧したりすることは、許可されている唯一のことです。大人の許可なく**写真やビデオ**を撮影したり、ソーシャルメディアにアップロードしたり、共有したりすることはできません。写真やビデオは、イリノイ州盗聴法の違反であり、FERPA(学生記録)に違反する可能性があります。大人の許可なく電話をかけたり、**送信したりすることはできません。**

生徒が携帯電話やその他の個人用電子機器を学校に持ち込むことを選択した場合、常にそれに対して責任を持つのは生徒の責任です。教師、コーチ、オフィスなどは、携帯電話の保管について一切責任を負いません。携帯電話やその他の個人用電子機器は、学生が学校関係者から他の許可を得ていない限り、授業中はキャンパス内のロッカーに保管する必要があります。保管中であっても、音声違反(ビープ音、呼び出し音、アラームなど)にはルール/結果が適用されます。学校関係者の許可を得たら、許可を与えた人の直接の監督の下で携帯電話を使用することができます。学校の日、学生がバスに乗る時間、および/または学生がキャンパスに到着して**3:05**に終了する時間として定義されます(バスの乗客はバスの規則に従う必要があります)。学校関係者の許可があれば、バスや体育館などで携帯電話を使用し、課外活動のための交通手段を確保することができます。携帯電話は隠蔽や使用が非常に簡単で、不正行為、いじめ、画像の投稿などの不適切な行為を簡単に可能にするため、不適切な使用に対する罰則は厳格でなければなりません。

軽微な違反には、所持(閉じ込められているはずの建物内にいる人)、アラームが鳴る、偶発的な呼び出し音などの違反が含まれますが、これらに限定されません。これらが**発生した場合、デバイスは没収され、その日の終わりに学生に解放されます。紹介も入力され、最初の違反には口頭での警告が割り当てられます。その後の軽微な違反は拘留されます。**

これが発生した場合、学校関係者は直ちにそれを没収し、親または保護者は学校で電話またはデバイスを取り戻す必要があります。重大な違反に対する懲戒処分は、違反の重大性に応じて、拘

留(最低)から停学および/または退学までさまざまです。

注-スタッフまたは管理者の指示により、携帯電話、イヤフォン、またはヘッドフォンの引き渡しを拒否する学生は、拘留から停学に至るまで、追加の懲戒処分の対象となります。また、一定期間、学校の敷地内で携帯電話の使用を禁止されることもあります。

iPOD、MP3、タブレット、スマートウォッチ、ゲーム機など、メッセージの送信や写真撮影などが可能な機器は、Personal Electronic Devices ポリシーガイドラインの対象となります。

電子書籍リーダー

Kindle、Nook、iPod、iPadなどの電子書籍リーダーは、生徒の責任であり、地区は起こりうる損傷や盗難について一切責任を負わないことを理解した上で、学校やバスで許可されます。生徒はこれらのデバイスを使用して本を読む必要があります、クラスで使用する場合は、インターネットサーフィン、ゲーム、写真/ビデオの撮影共有などは使用しないでください。生徒の時間にゲームに使用することができます。

軽微な違反には、所持(建物が閉じ込められているはずのときに建物内にいる人)、アラームが鳴る、偶発的な騒音などの違反が含まれますが、これらに限定されません。これらが発生した場合、デバイスは没収され、その日の終わりに学生に解放されます。紹介も入力され、最初の違反には口頭での警告が割り当てられます。その後の軽微な違反は拘留されます。

主な違反には、所持(建物が閉じ込められているはずの建物内にいる人)– 繰り返し違反する、許可されていないときにデバイスを使用する、許可されていないときにデバイスを他の学生に貸し出して許可なく使用する、写真/ビデオを撮影/共有するなどの違反が含まれますが、これらに限定されません。このような場合は、学校関係者が直ちに没収し、保護者が学校で回収する必要があります。重大な違反に対する懲戒処分は、違反の重大性に応じて、拘留(最低)から停学および/または退学までさまざまです。

注-スタッフまたは管理者の指示で電子機器の引き渡しを拒否した学生は、拘留から停学に至るまで、追加の懲戒処分の対象となります。また、一定期間、学校の敷地内でのデバイスの使用を禁止される場合もあります。

携帯電話を電子書籍リーダーとして使用することは許可されません。

LOITERING

生徒は、適切に監督されていない限り、学校でうろうろしたりたむろしたりすることはできません。生徒は、ただぶらぶらしているだけでなく、ここにいる理由を持つべきです。生徒が乗車を待っている場合は、保護者のピックアップエリアのそば、または悪天候の場合は保護者のピックアップエリアのそばのホワイエ、またはメインオフィスのホワイエで外で待つ必要があります。学生は、廊下を歩き回ったり、建物の外を 時間歩き回ったりしてはいけません。

課外ハンドブック

教育委員会は、保護者が私たちの課外プログラムとそれを導く規則や規制をよりよく理解できるように、このハンドブックの発行を許可しました。保護者の理解、協力、サポートは、学校プログラムの成功に不可欠ですが、学校活動の課外活動では特に重要です。

このハンドブックは、カータービルユニット#5の課外参加者向けに作成され、課外参加者とその保護者が課外プログラムの規則とポリシーをよりよく知ることができるようにしました。

課外活動は、参加を希望する学生に地区が拡張する特権であり、コードおよびそれぞれの活動のために確立された規則と規制を遵守することに同意します。コンプライアンスにより、特定の活動に継続的に参加することができます。各スポンサーが活動のために定めた規則や規制に従わない場合、書面で定められ、参加者に十分に周知された制裁措置が科せられます。これらの活動は、学生の財産的利益ではなく特権と見なされるため、懲戒処分を検討する必要がある場合は、このハンドブックに規定されている手続き上および実質的な考慮事項のみが学生に与えられるものとし、課外活動への出席や参加は、懲戒方針の問題として拒否される場合があります。

ハンドブックがどれほど完全であっても、発生する可能性のあるさまざまな状況をすべて予測することはできません。これは、学校の方向性を示すためのガイドとしての意味があります。ここに記載されている罰則は最小限と見なされるものとし、より厳しい措置が取れないことを意味するものではありません。

CartervilleUnit#5の課外活動参加者として参加することで、特別な機会を持つ個人としてあなたを際立たせることができます。課外活動は、非参加者にはない多くの価値のある経験や交流を提供します。このプログラムは特典として提供しており、参加を希望する活動に100%協力することを強くお勧めします。カータービル中学校は、野球、バスケットボール、チアリーディング、クロスカントリー、ボウリング、スカラールボウル、年鑑スタッフ、ソフトボール、陸上競技、バレーボール、バラエティショー、学生リーダーシップ評議会、学生図書館アシスタント、マーチングバンド、オフィスワーカー。中学校はビッグセブン会議のメンバーとして参加しています。学区が主催する5年生と6年生の活動に参加する機会もあります。これらのプログラムは、中学校プログラムの延長線上にあることを認識する必要があります。

陸上競技への学生の参加

CJHS、ソフトボール、野球、クロスカントリー、チアリーディング、ボウリング、男子バスケットボール、女子バスケットボール、バレーボール、男子陸上、女子陸上のスポーツを提供しています。SIJHSAAの規則によると、陸上競技に参加する資格を得るには、学生は昇進に向けて進歩し、成績を留年していない必要があります。ユニット#5の運動ガイドラインでは、学生アスリートはクラス以下で落第し、他のクラスでC以上の成績を持つことが義務付けられています。ユニット#5では、スポーツのトライアウトを希望するすべての学生は、現在の身体検査をファイルに保存する必要があります。詳細については、ユニットのアスレチックハンドブックを参照してください。

学校活動:教育全体の残りの半分

学校教育プログラム全体の不可欠な部分としてのスポーツプログラムやその他の活動の価値については、十分に文書化された例がいくつかあります。全国調査によると、高校の活動に参加している生徒は、学業平均が高く、出席記録はるかに優れている可能性が高いことが明らかになっています。

たとえば、高校を中退した生徒のうち、94%は陸上競技、音楽、スピーチ、学生自治会などの学校活動に参加していません。その後の人生または選択したキャリアでの成功の最良の予測因子(ACTおよびSATの研究から要約)は、高校や大学の成績平均点、テストの点数、またはクラスでのランクではなく、学校の活動プログラムへの以前の参加です。

一般的に、活動プログラムへの参加は、子供たちをより幸せにし、より良い市民にする価値観を教えます。強い心と体

を作ります。人種、性別、経済的地位は参加の障害ではないと強調する;落ち着きと自信を植え付けます。

課外プログラムコードの目標

私たちの課外プログラムの目標は、私たちの 主義社会のためにより効果的な個人を促進し、育成することです。

目標：

1. スポーツマンシップを学ぶ課外活動の参加者が最善を尽くしたことを知って、敗北を受け入れるのは簡単です。勝利の優雅な勝者、敗北の淑女または紳士であることは、課外活動の参加者がそれぞれ持っていることを誇りに思うべき資質です。
2. 課外プログラムを学校の一部として受け入れる-課外プログラムは重要な部分です
トータルスクールプログラムであり、その教育的価値のために学校によって後援されています。学生の学業成績と個人的な福祉は、プログラムの本質的な目的です。
3. スキルを学ぶ-課外プログラムは、生涯にわたる活動の開発において各個人を支援するために使用できる個々のスキルを教えます。
4. 課外活動を楽しむ課外活動の参加者が、自分の成果に満足し、前向きな姿勢で参加することが大切です。彼らは、個人的に成長し、プログラム全体を改善するために、進んで自分自身を捧げるべきです。
5. 勝つために-私たちの社会は非常に競争が激しいです。課外活動の参加者が必ず勝つとは限りませんが、継続的に努力すれば成功します。彼らは、成功しようと真剣に努力してきたと確信すれば、良い敗者になることを学ぶことができます。

一般的な行動

課外活動チームのメンバーは、学校や地域社会の良き市民であることが期待されています。チームメンバーは常に世間の注目を浴び、影響力のある立場にあります。幼い子供たち、コミュニティのメンバー、およびその他の学校関係者は、課外活動の参加者を観察し、彼らにリーダーシップを求め、他の人が従うべき基準を設定することを期待します。自己規律は、この高度な社会的成熟度を発達させるために不可欠です。

私たちは、学生が選択したさまざまな活動に参加する機会は、学生の教育経験の重要な部分であると信じています。このような参加は、学校、活動、生徒団体、地域社会、そして生徒自身に対する責任を伴う特権です。これらの経験は、生徒が自分の教育を最大限に活用できるようにする学習スキルと感情パターンの発達に貢献します。

参加者は、コーチやスポンサーは警察ではないことを覚えておく必要があります。ルール違反は許されません。課外活動の参加者には常に注意が向けられており、コミュニティ全体が彼または彼女を誇りに思うことができるように、彼または彼女は良い模範を示すことが期待されます。参加者は、自分自身、チームメイト、コーチ、家族、またはコミュニティに無礼をもたらす状況を避けなければなりません。教育委員会が定めたこれらの規則や方針に違反した場合、行政は公正かつ一貫して対処します。

教育委員会は勝利に誇りを持っていますが、「どんな犠牲を払っても勝つ」ことを容認せず、スポーツマンシップやメンタルヘルスを軽視しがちなあらゆるプレッシャーを思いとどまらせます。課外活動は、常に教育活動として正当化される方法で実施されなければなりません。

学生と課外活動の参加者が、この全責任を受け入れる準備ができている場合にのみ、ライオンまたはレディライオンとして課外プログラムへの参加を検討する必要があります!!!!

課外活動参加者の倫理的・道徳的基準

課外プログラムは、望ましい規律の習慣を奨励し、共通の目標のための自己犠牲と献身の資質を発達させ、受け入れられる倫理的および道徳的態度の雰囲気をもつための経験を提供します。

課外プログラムは、学校のプログラムの選択科目であるため、すべての人に適しているとは限りません。これらは、プログラムのために確立された条件を遵守することを希望する学生、およびプログラムを通じて利用可能な利点を得たい学生が利用できます。競争的な課外プログラムの性質は、人格、人格、および規律の個々の発達を提供するようなものです。学校の課外活動の全体的な理念を維持するためには、この哲学的見解と一致するガイドラインを確立する必要があります。

このプログラムは、学校とコミュニティの態度を反映しようとしており、適切な利益が得られるように維持されます。個々のパフォーマーは、学校コミュニティから誇りを抱かせるような振る舞いとパフォーマンスが期待されます。課外プログラム部門の将来は、将来のチームが従う模範を示すため、現在のチームの行動によって影響を受けます。

課外活動参加者の倫理的および道徳的行動は、シーズンや活動中だけでなく、オフシーズンや夏の間も模範的でなければなりません。

課外活動ガイドライン

以下の一般的な規則および規制は、課外活動の参加者が尊重し、維持することが期待されるガイドラインと見なされます。

(ア) 学校への出席: 課外活動の参加者は、出席に関して模範的な生徒の行動を示すことが期待されます。可能な限り、クラスと競合しないようにコンテストがスケジュールされます。課外活動の参加者は、アスレチックまたはアクティビティディレクターおよび/または管理者によって許可されていない限り、資格を得るには、コンテストまたは練習日の最後の1/2日に出席する必要があります。ヘッドコーチまたはスポンサーは、すべてのアカデミッククラスへの出席を主張します。欠席した授業は、復学後すぐに補う必要があります。

(イ) 参加課外プログラム: 参加は、すべての学生が利用できます。課外活動の参加者は、事前にコーチの許可がない限り、または緊急時を除いて、各練習に参加することが期待されています。学生が課外活動の参加者として成功するためには、迅速さも不可欠です。カータービルコミュニティユニット#5課外プログラムに参加することは名誉なことと考えられています。学生と課外活動の参加者の態度と行動は、定められた規則と規制と一致している必要があります。

(ハ) 外見: 服装と身だしなみ: 規則は、学校および特定のスポーツチームによって確立された規則と一致します。

(エ) コミットメント: 課外活動参加者の規則と規制は、課外活動参加者と学校の間でのコミットメントと見なされます。違反は、このハンドブックに記載されている手順に従って処理されます。

(ウ) 休息: 課外活動の参加者は、不適切な休息によって身体能力が妨げられないように、通常の時間を維持し、屋外での活動を制限することが期待されます。

(F) 傷害: 傷害は、どんなに軽微であっても、いかなる状況においても無視されるべきではありません。適切なケアのためには、怪我をすぐにコーチに報告する必要があります。

(G) 奨学金: 課外活動の参加者は、授業から最大限の成果が得られるように、学習習慣を整える必要があります。すべてのクラスへの出席、気配りのある態度、および資格規則の認識は、課外活動の参加者にとって必需品です。

(H) タバコ-アルコール-薬物-吸入剤: これらの物質の使用および/または所持は禁止されています。

(I) その他の活動: 他活動への参加は、個人の課外活動のパフォーマンスに及ぼす影響を考慮する必要があります。最大限のパフォーマンスを妨げるような活動は、コーチの相談を通じて評価されるべきです。

(J)運動会や課外活動の観戦は、学校行事を構成する。ホテル、課外プログラム施設、輸送車両はすべて学校の活動の一部と見なされます。学生課外活動参加者の行動は、参加しているか視聴しているかにかかわらず、このハンドブックと学校ハンドブックの指示にも該当します。

課外活動への参加に関するルール

シーズン中、オフシーズン、夏に課外活動に参加する学生は、以下のルールに従う必要があります。

アスレチックディレクターとチームコーチ/スポンサーは、このハンドブックに記載されている罰則を課す権限があり、違反に関する個人的な知識、または警察、学校関係者、コーチ、学生、およびまたはカータービルコミュニティユニット学区#5の教員からの証拠/証言に基づいて行うものとします。

可能な限り最高の課外プログラムを実施するためには、生徒が規律を尊重する態度を示し、地区方針と生徒ハンドブックに記載されているすべての校則を遵守する意欲を示し、課外プログラムへの参加に関する規則に従うことが不可欠です。

1. 課外活動の参加者は、以下のいずれかを犯した場合、アスレチックディレクター、校、およびまたはチームコーチから課せられた罰則を含む懲戒処分の対象となります。
 - a. 親許可書の署名の改ざん
 - b. 校、アスレチックディレクター、またはコーチが不適切と判断した学校の所有物、または他の生徒の所有物の盗難または破壊行為
 - c. スポーツシーズン中のスポーツマンシップに反する行為
 - d. 授業中の不正行為、脅迫、または学校関係者や他の生徒の健康、安全、福祉を直接危険にさらす行為
- e. 何らかの理由で学校またはACRから停止された課外活動参加者も、次のガイドラインに基づいてそれぞれの活動への参加が停止されます。
 1. 2分の1から3日間の出場停止処分は、少なくとも1試合の出場停止処分となります。
 2. 4日間または5日間の出場停止処分は、少なくとも2試合の出場停止処分となる
 3. 学生・課外活動参加者が5日以上停学処分を受けた場合は、課外活動懲戒委員会を開催し、適切な停学処分を審議・実施する。これらのガイドラインは、内部または外部のサスペンションに対して実施されます。

学生の課外活動の参加者は、学校の停学後、丸一日学校を修了している必要があることを認識する必要があります。たとえば、金曜日に停学処分を受けた課外活動の参加者は、金曜日、土曜日、日曜日のコンテストに参加できず、月曜日に丸一日学校に出席した後にのみプレイすることが許可されます。

ハンドブックで前述したように、課外活動の参加者が学校内外で良い性格を示すことが重要です。教師や管理者とトラブルになっている課外活動の参加者は、課外プログラムから適切な罰則を受けることとなります。

このハンドブックは、学年度中に発生する可能性のあるあらゆる種類の懲戒問題に対処または予見するものではありません。したがって、このハンドブックで罰則が具体的に扱われていない選手が関与する可能性のある違反では、罰則は校、アスレチックディレクター、コーチの裁量に委ねられます。課外活動に参加した人が、自分が公平に扱われていないと感じた場合、この判決を校、教育、教育委員会に上訴することができます。

2. 各コーチ/スポンサーは、自分の活動に関する追加のルールを制定する特権を持っています。これらの規則には、練習への出席、居残り、門限、服装、および練習、コンテスト、旅行中の参加者の一般的な行動が含まれる場合があります。

3. チームが選ばれる前に、各生徒の最新の9週間の成績表を調べます。学生の直近の9週間の成績が毎週の資格要件に違反している場合、学生は9週間課外活動に参加する資格がありません。

奨学金

カータービル中学校の課外活動の参加者は、教室で達成することが期待されています。課外活動参加者の「学生」の部分に重点が置かれます。

カータービル中学校の課外活動の参加者は、1クラス以下で落第し、他のクラスでC以上の成績をとるものとします。シーズン中に3週間(連続または非連続)資格のない学生は、そのスポーツの残りのシーズンの資格がありません。定められたこれらの基準は、カータービル中学校に参加するための学力の最低基準です。毎週の適格性チェックが実施され、毎週金曜日までに完了します。課外活動の参加者が最低基準に達していないことが判明した場合、月曜日から始まる翌週の課外プログラムへの参加は学問的に不適格となります。最初の違反では、課外活動の参加者は練習やコンテストへの参加を許可されますが、制服を着ることはありません。2回目の違反では、課外活動の参加者は練習やコンテストに参加したり、参加したりすることはできません。3回目の違反行為を行った場合、課外活動の参加者はチームから除名されます。

薬物乱用に関する方針

タバコ

課外活動参加者(課外活動に参加している、または現在参加している学生)が、学年度中いつでも24時間または夏の間、あらゆる形態のタバコおよびタバコ製品を使用または所持すると、次のようになります。

シーズン中

- 初犯-課外プログラムへの参加を1週間停止し、少なくとも1回の学際的な競技会またはパフォーマンスを含むこと
- 回目の違反-残りのシーズンの課外活動への参加停止
- 回目の違反-1暦年間の課外プログラムへの参加停止

シーズンオフ

- 最初の違反-学生が試みた次のシーズンの開始時に提供され、トライアウト後に少なくとも1つのコンテストまたはパフォーマンスを含むために、1週間の課外プログラムへの参加を停止
- 回目の違反-生徒が試みた次の活動の開始時に送達される2ヶ月間の課外プログラムへの参加停止
- 回目の違反-違反日から1暦年の間、課外プログラムへの参加停止

アルコール-薬物-吸入剤

課外ハンドブックおよび学生ハンドブックに記載されているアルコール、薬物、または吸入剤を、学年度中いつでも24時間または夏の間使用または所持すると、次のようになります。

初犯

- 地区の定期的な懲戒処分(該当する場合)
- 課外活動への参加は、1暦年間停止される。停職処分は、懲戒処分が下された時点から12か月間を対象としています。
- アスレチックディレクター、保護者、生徒などの関係者との会議を開催する。生徒は、保護者会議が開催さ

れるまで、練習やイベントに参加することはできません。

4. コーチ、アスレチックディレクター、校の許可を得て、停学処分を受けている生徒は練習やコンテストに参加することができますが、コンテストに参加することはできません。
5. 学生は、スクリーニングプロセスを受け、スクリーニングプロセスによって定められたすべての条件、条件、および推奨事項に有意義な方法で従うことに同意した場合、2週間の学際的競争の後、課外プログラムに戻るオプションが提供される場合があります。課外活動の参加者は、スクリーニングプロセス全体で発生した費用を負担します。

チームへの復帰の選択肢を提供された課外活動参加者は、復帰後、以下の試合を欠場するものとする。スポーツシーズンがレギュラーシーズンの10試合以下に制限されている場合、関係する課外活動参加者は2つのコンテストに参加してはならない。レギュラーシーズンに11~15試合が含まれる場合、関係する課外活動参加者は3つのコンテストに参加してはなりません。レギュラーシーズンの試合が15試合以上予定されている場合、課外活動の参加者は4試合を欠場するものとする。

陸上競技以外の場合、課外活動に応じて個別に出場停止を決定します。

6. 選考の勧告に従わなかった場合、1年間の課外活動への参加停止期間の残りを完了する必要があります。
7. 生徒が薬物やアルコールを所持していることが判明した場合は、保護者と警察に連絡します。
8. 違反が季節外れに発生した場合、学生が参加する次の課外活動の開始時に適切な懲戒処分が行われます。

2回目の違反(2回目の違反とは、最初の違反から5年以内に発生したものです)。

1. 地区の定期的な懲戒処分(該当する場合)
2. 学生は、今後12か月間、課外活動への参加を停止されるものとします。
3. 警察に通報する。

3回目の違反(3回目の違反とは、2回目の違反から5年以内に発生したものです)。

1. 地区の定期的な懲戒処分(該当する場合)
2. 課外活動の参加者は、カータービルコミュニティ学区の学生としての残りの期間、課外活動に参加することはできません。
3. 警察に通報する。

これらの制裁は、違反時に活動に積極的に関与しているかどうかにかかわらず、すべての学生に適用されます。これらの罰則は、告発が提出された場合、および/またはコーチ、警察、教職員、および/または学校管理者が実質的な証拠を提示した場合に課せられる可能性があります。これらのペナルティは、学生が課外プログラムに参加した時点から、カータービルでの学生のキャリアを通じて累積されるものとします。このポリシーは暦年を通じて有効であり、学区の懲戒ポリシーに取って代わるものではありません。

すべての薬物犯罪は累積的です。

スポーツトランスファー

アスリートは、シーズンが終わる前に1つのスポーツをやめ、別のスポーツの練習を始めることを許すことで、存在するであろう問題を認識する必要があります。

学生の転校

カータービルコミュニティユニット学区#5は、私たちの学区に転校する場合、別の学区によって開始された懲戒処分を支持します。1つの学区で資格のない生徒が私たちの学校に転校してすぐに資格を得ることは許可されません。

機器の手入れ

課外活動の参加者には、適切にフィットし、保護する必要がある機器が提供されます。適切な装備があることを確認するか、コーチに連絡して交換を依頼する必要があります。

彼らは、洗濯が必要な自分の機器の世話をすることが期待されています。彼らはまた、彼らに発行されたすべての機器に対して財政的に義務付けられています。したがって、紛失や盗難を防ぐためにあらゆる予防策を講じる必要があります。

学校当局に十分な説明をせずに学校の備品を返却しなかった場合、「ポリシーと規制の施行」に概説されている罪に問われる可能性があります。用具を返却しなかった生徒は、用具が返却されるまで、他のスポーツや活動に参加することはできません。各コーチは、この要件を満たしていない生徒の次の課外活動でヘッドコーチに通知する裁量権を持っています。

学校設備の使用の乱用を排除することは、すべての関係者の責任です。備品の盗難を避け、学校の備品を個人で使用しないようにあらゆる努力を払う必要があります。

旅行での服装

課外活動の参加者は、すべての旅行に適切な服装をすることが期待されます。コーチは、チームメンバーに旅行に必要なものをアドバイスし、学校のドレスコードを監視する責任があります。

更衣室の規定

生徒は、更衣室の訪問者に適切な敬意を示さなければなりません。「馬遊び」は、更衣室の滑らかな床で危険な場合があります、いつでも容認されません。生徒は、機器、衣服、貴重品を常に保護する必要があります。対戦相手の施設に敬意を払うことは非常に重要です。破壊行為、窃盗、または施設やその所持品の不適切な使用は、この課外プログラムコードの違反と見なされます。

傷害

アスリートと保護者は、スポーツ参加による身体的傷害のリスクを認識する必要があります。これらのリスクには、首や脊椎の損傷、脳の損傷、目、歯や聴覚の損傷、または内部損傷とともに死亡する可能性が含まれます。アスリートは、どんなに軽微な怪我でも、すべての怪我をコーチに報告する必要があります。

脳震盪のルール脳震盪(意識喪失、頭痛、めまい、混乱、平衡感覚の問題など)と一致する兆候、症状、または行動を示すアスリートは、直ちにコンテストから排除され、適切な医療専門家によってクリアされるまでプレーに戻らないものとします。

競技への入場を取り戻すための方針と要件に関する追加情報は、CJHSオフィスまたはコーチを通じて見つけることができます。

保険

学生は、課外活動を試したり参加したりする前に、保険に加入する必要があります。保険に加入しての両親いない学生は、保険に関する情報について校 室に連絡することをお勧めします。

コンテストのための旅行

コーチは、すべてのアスリートにバス乗車を義務付ける方針を施行します。親は、子供を個人的に家に連れて帰るためにサインアウトする必要があります。保護者は、コーチまたは学校が提供する旅行許可書を使用する必要があります。親が自分の子供以外の子供を家に連れて帰るためにも、同様の手順に従う必要があります。地区は、正当な理由または状況がある場合にのみ子供を連れて行くように親に促します。

悪天候と緊急(雪)の日

悪天候により学校が早期に解散またはキャンセルされた場合、ユニット#5の生徒は運動チームの練習セッションやその他の課外活動に参加しません。ただし、この例外は、適切なスポンサー、アスレチックディレクター、直属の監督管理者、および監督者と協議し、練習を開催できるような条件が整ったことに同意した後に許可される場合があります。

悪天候や旅行条件により学校が早期に解散またはキャンセルされた場合、ユニット#5の生徒は予定されたゲームや競技会に参加しません。ただし、これに対する例外は、適切なスポンサー、アスレチックディレクター、直属の監督管理者、および監督者との協議と合意の後に許可される場合があります。

上記の当局が練習を許可した場合、課外活動の参加者が練習セッションに参加できない場合でも、コーチから罰せられたり懲戒されたりすることはありません。

ポリシーと規制の施行

課外活動の参加者がプログラムにコミットする場合、活動やスポーツに関係なく、またプログラムがシーズン中であるかどうかに関係なく、これらの規制を遵守することが期待されています。ポリシーや規制の違反が明らかになった場合、または学校の管理者、アスレチックディレクター、またはコーチの注意を喚起し、証明された場合は、次のガイドラインが使用されます。

1. 違反した場合、学生は試用期間に置かれます。この間、生徒はヘッドコーチが規定した時間枠内で欠陥を修正するように努める必要があります。この間、彼らはチームの一員として残ります。
2. ヘッドコーチは、生徒の欠点とその修正方法を伝えます。保護者には、取られている措置について連絡があります。
3. 試用期間が終了すると、不備が修正された場合、学生は復職します。試用期間が延 されたり、不備が是正されない場合は停学処分になる場合があります。
4. 停学処分の場合、停学処分リストから削除されるまで、学生は課外プログラムに参加できません。
5. 重大な違反行為があった場合、試用期間を設けることなく直ちに停学処分を受けることができます。
6. 停学処分を受けた場合、停学処分の状況と理由を通知します。保護者には、取られているアクションについて連絡があります。アスレチックディレクターと校 室は、そのような措置について通知されるものとします。
7. 停学処分後の復職は、当該ヘッドコーチを通じて生徒から要請されます。コーチは、この提案を受け入れるか拒否するかを選択できます。コーチが承認した場合、アスレチックディレクターと校 室に引き継がれます。これらの人々による受け入れは、生徒、保護者、およびヘッドコーチが承認または復職について連絡を受けた時点で最終的なものとなります。
8. 上記のプロセスで意見の相違がある場合は、コーチ、アスレチックディレクター、校 室、教育 委員会、教育委員会などの適切

な指揮系統に従う必要があります。

フィジカル

スポーツへの参加を計画している学生は、そのスポーツを試したり参加したりする前に、現在有効な身体をファイルに保存する必要があります。学校のスポーツチームへのトライアウトまたは参加を希望する学生は、現在(395日未満)のスポーツフィジカルまたは学校のフィジカルを持っていて、学際的なスポーツセッションが適切にマークされている必要があります。

結論

課外活動の主な目的は、「ロールモデル」となる人材を育成することです。「ロールモデル」となる個人は、社会の有用で忠実な一員であり、卓越性を達成することを望み、健康で目的のある生活を送るよう努め、仲間の人間に深い敬意を払い、大多数の利益のために個人的な犠牲を払うことをいとわないでしょう。おそらく最も重要な要因は、「ロールモデル」が高い道徳律に従って生きることがいとわないことです。学生は課外プログラムで「ロールモデル」になることに挑戦します。彼らがこの課題を受け入れ、うまく対処できることを願っています。

課外活動協定

I-タービルコミュニティユニット学区#5課外プログラムのメンバーになりたいです。

I外活動の成功に全力を尽くすことに心から興味があります。

私は、より良い競争相手になる機会を提供し、私をより良い市民にする特性を植え付ける、成功した組織の一員であることを光栄に思っています。

Iは、「課外活動ハンドブック」に概説されている規則に従って行動することに同意します。

I外活動ハンドブックの規則や規則をすべて理解しています。

I外ハンドブックは、夏季を含む年間を通して有効であると理解しています。

私は、「課外ハンドブック」に記載されている合意に従わない場合、含まれている手順に従って課外プログラムから削除されることをいとわないことを理解しています。

課外活動方針の条件の受諾

私はここに、私が読んで理解したポリシーに従って行動することに同意します。私は、ポリシーに従わない場合、課外活動から外されることをいとわないことを認識しています。

署名 _____ (課外活動参加者)

署名済み _____ (親/保護者)

電話番号 _____ 日付 _____

アスレチック保険契約

名前 _____ GRADE _____ PHONE _____

項目1: スポーツ参加の許可を求めます。

「課外活動参加者ハンドブック」の保険に関する情報を読み、プランに従うことに同意します。

_____ (選手のサイン) (日時)

項目2: 子どものスポーツ参加の申し込みを承認する

Iた、保険適用範囲における私の責任をカバーする声明を読み、承認しました。

_____ (親/保護者の署名)(日付)

医療同意書

課外活動参加者

これにより、上記の課外参加者の医学的または軽微な外科的治療、~~X~~線検査、および予防接種を進めるための許可が主治医に付与されます。重篤な病気、大手術、または重大な偶発的な怪我の場合、主治医が可能な限り迅速な方法で私に連絡するよう努めることを理解しています。当該医師が私と意思疎通ができない場合、上記の課外活動参加者の最善の利益のために必要な治療が行われる場合があります。

練習中に緊急事態が発生した場合は、できるだけ早く保護者に連絡するよう努めます。また、医療施設に入院する前に、選手に必要な緊急治療を提供する許可がコーチに与えられます。

親/保護者の署名(日付)

課外活動参加者の名前 _____ S.S.# _____

住所 _____ City _____ Zip _____

父 _____ バス電話 _____ 自宅の電話 _____

_____ バス電話 _____ 自宅の電話 _____

かかりつけ医 _____ Physicianの電話 _____

医師の住所 _____

課外活動参加者の生年月日 _____ 出生地 _____

アレルギー _____ 学校に通う _____